3G対応 シグナルモニター&ビューワー

SMV-30H

SIGNAL MONITOR & VIEWER

取扱説明書

このたびは、ビデオトロン製品をお買い上げいただきありがとうございました。
安全に正しくお使いいただくため、ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

VIDEOTRON®

この製品を安全にご使用いただくために



警告

誤った取扱いをすると死亡または重傷、火災など重大な結果を招く恐れがあります。

1）電源プラグ、コードは

・定格で定められた電源以外は使用しないでください。

・差込みは確実に。ほこりの付着やゆるみは危険です。

・濡れた手でプラグの抜き差しを行わないでください。

・抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。コードを持って引っ張らないでください。

・電源コードは巻かずに、伸ばして使用してください。

・電源コードの上に重い物を載せないでください。

・機械の取り外しや清掃時等は必ず機械の電源スイッチを OFF にし、電源プラグを抜いてから行ってください。

2）本体が熱くなったら、焦げ臭いにおいがしたら

・すぐに電源スイッチを切ってください。電源スイッチのない機械の場合は、電源プラグを抜くなどして電源の供給を停止してください。機械の保護回路により電源が切れた場合、あるいはブザー等による警報がある場合にもすぐに電源スイッチを切るか、電源プラグを抜いてください。

・空調設備を確認してください。

・しばらくの間機械に触れないでください。冷却ファンの停止などにより異常発熱している場合があります。

・機械の通風孔をふさぐような設置をしないでください。熱がこもり異常発熱の原因になります。

・消火器の設置をお勧めします。緊急の場合に取り扱えるようにしてください。

3）修理等は、弊社サービスにお任せください

・感電・故障・発火・異常発熱などの原因になりますので、弊社サービスマン以外は分解・修理などを行わないでください。

・故障の場合は、弊社　サポートセンターへご連絡ください。

4）その他

・長期に渡ってご使用にならない時は電源スイッチを切り、安全のため電源プラグを抜いてください。

・質量のある機械は一人で持たず、複数人でしっかりと持ってください。転倒や機械の落下によりけがの原因になります。

・冷却ファンが回っている時はファンに触れないでください。ファン交換などは必ず電源を切り、停止していることを確かめてから行ってください。

・車載して使用する場合は、より確実に固定してください。転倒し、けがの原因になります。

・ラックマウントおよびラックの固定はしっかりと行ってください。地震などの災害時に危険です。

・機械内部に異物が入らないようにしてください。感電・故障・発火の原因になります。



注意

誤った取扱いをすると機械や財産の損害など重大な結果を招く恐れがあります。

1）機械の持ち運びに注意してください

・落下等による衝撃は機械の故障の原因になります。
　また、足元に落としたりしますとけがの原因になります。

2）外部記憶メディア対応の製品では

・規格に合わないメディアの使用はドライブ・コネクタの故障の原因になります。
　マニュアルに記載されている規格の製品をご使用ください。

・強い磁場がかかる場所に置いたり近づけたりしないでください。内部データに影響を及ぼす場合があります。

・湿気やほこりの多い場所での使用は避けてください。故障の原因になります。

・大切なデータはバックアップを取ることをおすすめします。

●定期的なお手入れをおすすめします

・ほこりや異物等の浸入により接触不良や部品の故障が発生します。

・お手入れの際は必ず電源を切り、電源プラグを抜いてから行ってください。
　また、電解コンデンサー、バッテリー他、長期使用劣化部品等は事故の原因につながります。
　安心してご使用していただくために定期的な（5年に一度）オーバーホール点検をおすすめします。
　期間、費用等につきましては弊社　サポートセンターまでお問い合わせください。

※上記現象以外でも故障かなと思われた場合やご不明な点がありましたら、弊社　サポートセンターまでご連絡ください。

保証規定

①本製品の保証期間は、お買い上げ日より1年間とさせていただきます。
なお、保証期間内であっても次の項目に該当する場合は有償修理となります。

(1)ご利用者様での、輸送、移動、落下時に生じた製品破損、損傷、不具合。

(2)適切でない取り扱いにより生じた製品破損、損傷、不具合。

(3)火災、天災、設備異常、供給電圧の異常、不適切な信号入力などにより生じた破損、損傷、不具合。

(4)当社製品以外の機器が起因して当社製品に生じた破損、損傷、不具合。

(5)当社以外で修理、調整、改造が行われている場合、またその結果生じた破損、損傷、不具合。

②保証は日本国内においてのみ有効です。【This Warranty is valid only in Japan.】

③修理責任免責事項について

当社の製品におきまして、有償無償期間に関わらず出来る限りご依頼に沿える修理対応を旨としておりますが、以下の項目に該当する場合はやむをえず修理対応をお断りさせていただく場合がございます。

(1)生産終了より7年以上経過した製品、及び製造から10年以上経過し、機器の信頼性が著しく低下した製品。

(2)交換の必要な保守部品が製造中止により入手不可能となり在庫もない場合。

(3)修理費の総額が製品価格を上回る場合。

(4)落雷、火災、水害、冠水、天災などによる破損、損傷で、修理後の恒久的な信頼性を保証出来ない場合。

④アプリケーションソフトについて

(1)製品に付属しているアプリケーションは、上記規定に準じます。

(2)アプリケーション単体で販売している場合は、販売終了より3年経過した時点で、サポートを終了いたします。

※紙の保証書は廃止し、製品のシリアル番号で保証期間内外の判断をさせていただいております。

何卒、ご理解の程よろしくお願いいたします。

…… 目 次 ……

この製品を安全にご使用いただくために I
保証規定 III
1. 概　説 1
2. 機能チェック 2
1. 構　成 2
2. 機能チェック接続 2
3. 各部の名称と働き 3
1. メインモジュール／コネクターモジュール 3
4. 操作方法 7
1. 基本操作 7
2. メニューツリー 8
3. 各機能の説明 33
（1）ERROR LOG 33
（2）LOG FILTER 36
（3）ERROR DETECT 37
（4）PRESET 39
（5）GPI 43
（6）SYSTEM 46
（7）CONFIG 48
（8）INFORMATION 66
（9）MAINTENANCE 67
5. エラー検出について 69
1. SDI SIGNAL 69
2. TRS 69
3. LINE NUMBER 69
4. CRC Y 69
5. CRC C 70
6. LINE LENGTH 70
7. FIELD LENGTH 70
8. RESERVED DATA 70
9. ANC PARITY 70
10. ANC CHECKSUM 70
11. BCH 71
12. AUDIO PACKET 71
13. NO AUDIO PACKET 71
14. MUTE 71
15. BLACK 71
16. FREEZE 72
17. BLUE 72
18. COMPARE 72
20. ASYNC(将来対応) 74
6. 外部インターフェース 75
1. REMOTE 75
2. GPIO-01 GPIO インターフェースケーブル(オプション) 75

8. トラブルシューティング 77
9. 仕　様 78
1. 機　能 78
2. 定　格 79
3. 性　能 80
10. ブロック図 81
11. 外形図 82

1. 概　説

SMV-30Hは4系統のSDI信号の映像を1台のモニター上に4分割して表示する装置です。SDI信号は3G-SDI(Level-A)、HD-SDI信号に対応しており、各SDI入力はエラー監視機能を持っています。表示画面には、エラー検知、音声レベルメーター、ON AIR/NEXTタリーなどの表示が可能です。

《特　長》

- ●3G-SDI(Level-A)、HD-SDI信号に対応
- ●4系統のSDI入力の映像を4分割、シーケンシャル表示　※1
- ●各SDI入力は非同期入力に対応
- ●4系統のエラー監視機能
- ●エラーログの閲覧が可能
- ●音声レベルメーターの表示
- ●タイムコードの表示
- ●NET-Q情報の表示
- ●外部接点による出力映像切り替え、ON AIR / NEXTタリー表示

※1　映像フォーマットを混在させる事が可能ですが、SDI INとSDI OUTの映像フォーマットが異なる映像はコマ落ち、ジャギー等が発生する場合があります。

2. 機能チェック

1. 構　成

(1)SMV-70H 本体

番号	品名	型名・規格	数量	記事
1	3G 対応 シグナルモニター&ビューワー	SMV-30H	1	
2	AC 電源アダプター	VAC-12V03A	1	ケーブル長 1.5m
3	取扱説明書		1	本書

(2)オプション ※

番号	品名	型名・規格	数量	記事
1	GPIO インターフェース ケーブル (0.15m)	GPIO-01	1	本体に接続して、各 8 本の接点入力と接点出力を行います。
2	8x1 シリアルリモートコントローラー	SRC-0801	1	本体に接続して、スイッチ操作による 8 系統の制御を行います。別途接続ケーブルが必要です。
3	SR-0801 用シリアルリモートケーブル (3m)	SRC-0801-01	1	本体と SRC-0801 を接続するケーブルです。
4	SR-0801 用シリアルリモートケーブル (10m)	SRC-0801-02	1	本体と SRC-0801 を接続するケーブルです。

※ オプションは別売りです。

2. 機能チェック接続

下記の操作で本機が正常に動作していることをチェックします。

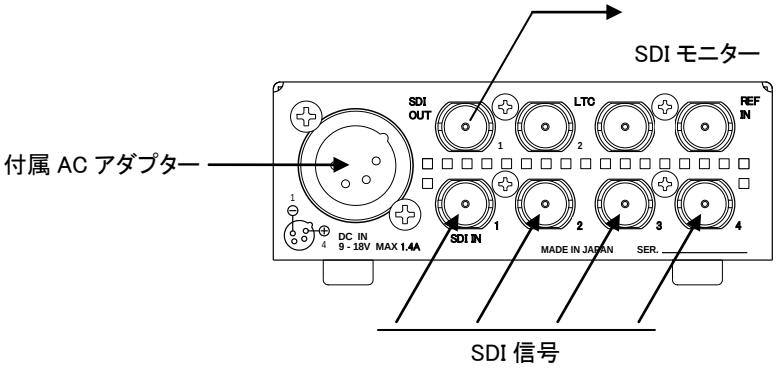


図2-1　機能チェック接続図

(1)SDI OUT 1をSDIモニターへ接続します。

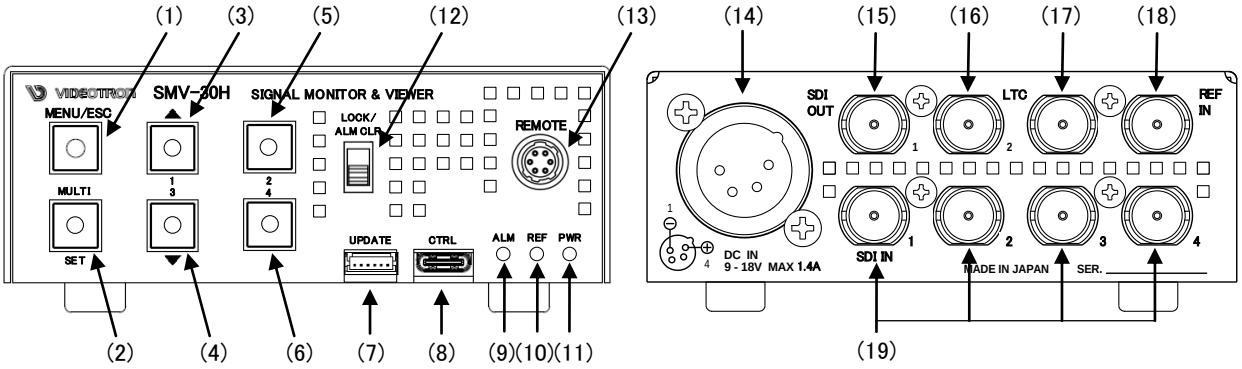
(2)DC INに付属のACアダプターを接続して電源を供給すると正面のPOWERランプが点灯します。
　本装置の起動にはおよそ20秒かかります。

(3)SDI IN 1～4へSDI信号を入力します。
　本製品で対応する映像フォーマットは「9.仕様 / 2.定格」を参照してください。

(4)SDIモニターにSDI IN 1～4のそれぞれの映像が4分割されて表示することを確認します。
　工場出荷時の映像フォーマットは1080i59.94です。
　他のフォーマットで出力する時はMENU→SYSTEM→FORMATで設定を行ってください。
　正常に動作しない場合は「8.トラブルシューティング」を参照してください。

3. 各部の名称と働き

1. メインモジュール／コネクターモジュール



[正面]　　[背面]

図3-1 各部の名称と働き

（1）MENU/ESC ボタン

メニュー表示を行うボタンです。

このボタンを押すとSDI OUT 1とSDI OUT 2にてオンスクリーンメニューが表示されます。

メニュー表示中はボタンのランプが点灯し、キャンセルの動作をします。

SDI OUT 1のオンスクリーンメニューは、MENU→DISPLAY→CONFIG→OUT1 OSD MENUの設定で非表示に設定する事が可能です。

（2）SET / MULTI ボタン

MENU/ESC ボタンのランプの点灯状態によって操作が変わります。(以降のボタンも同様)

MENU/ESC 点灯時	MENU/ESC 消灯時
SET ボタンになります。 メニューの項目を決定します。	MULTI ボタンになります。 SDI OUT 2にSDI IN 1～4の分割表示を出力します。 4分割/6分割の選択は、MENU→CONFIG→DISPLAY→MULTI SCREENにて設定します。 選択中はボタンのランプが点灯します。 音声は、 1 （SDI IN 1） ～ 4 （SDI IN 4)ボタンで点灯しているものが出力されます。

（3）▲ / 1 ボタン

MENU/ESC 点灯時	MENU/ESC 消灯時
▲ ボタンになります。 メニューの項目を選択します。	1 ボタンになります。 SDI OUT 2にSDI IN 1を出力します。 選択中はボタンのランプが点灯します。 1 を押した後に MULTI を押すと、映像は分表示で音声はSDI IN 1が出力されます。

（4）▼ / 3 ボタン

MENU/ESC 点灯時	MENU/ESC 消灯時
▼ ボタンになります。 メニューの項目を選択します。	3 ボタンになります、 SDI OUT 2にSDI IN 3を出力します。 選択中はボタンのランプが点灯します。 3 を押した後に MULTI を押すと、映像は分表示で音声はSDI IN 3が出力されます。

（5）2 ボタン

MENU/ESC 点灯時	MENU/ESC 消灯時
機能しません。	2 ボタンになります。 SDI OUT 2にSDI IN 2を出力します。 選択中はボタンのランプが点灯します。 2 を押した後に MULTI を押すと、映像は分表示で音声はSDI IN 2が出力されます。

（6）4 ボタン

MENU/ESC 点灯時	MENU/ESC 消灯時
機能しません。	4 ボタンになります。 て、SDI OUT 2にSDI IN 4を出力します。 選択中はボタンのランプが点灯します。 4 を押した後に MULTI を押すと、映像は分表示で音声はSDI IN 4が出力されます。

（7）UPDATE

メンテナンス用です。何も接続をしないでください。

（8）CTRL

将来対応用です。何も接続をしないでください。

（9）ALM ランプ

アラームの状態を示します。

MENU→ERROR DETECT→s1 ERROR SELECT～s4 ERROR SELECT のいずれかで設定されている ERROR DETECT項目で、エラーを検知すると黄色点灯します。

MENU→GPI→HOLD MODE の設定でエラーの点灯を保持する事が可能です。

（10）REF ランプ(将来対応)

リファレンス信号の状態を示します。

表3-1 REF ランプ

ランプの状態	REFERENCE SELECT	説明
消灯	LINE DIRECT	REFERENCE設定がLINE DIRECTに設定されている
消灯	REF IN	REF INにリファレンス信号がない
緑色点灯	REF IN	REF INのリファレンス信号でロックしている
黄色点灯	REF IN	REF INのリファレンス信号でロックできない

（11）PWR ランプ

電源の供給、内部の冷却ファンの状態を示します。

DC INに電源の供給があると緑色点灯します。

黄色と緑色で点滅する時は、内部の冷却ファンの回転数が規定値を下回っている時です。この状態におけるご使用は可能な限り避け、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

（12）LOCK / ALM CLR スイッチ

ボタンロックとアラームクリアの操作を行います。

ボタンロックは各ボタンの操作をロック(無効)します。

アラームクリアはアラーム出力の保持状態をクリアー(リセット)します。

表3-2 LOCK / ALM CLR スイッチ

スイッチの位置	ボタンロック	アラームクリア
下の状態	解除	なし
上の状態	有効	なし
下の状態にして→上→下 （1秒以内にスライド）	解除	アラームクリアを実行

・アラームクリア操作の補足

アラームクリアは、MENU→GPI→HOLD MODEが”ON”かつ、MENU→GPI→HOLD MODE TIMEが”0”の時に有効になる操作です。

（13）REMOTE

オプションのGPIOインターフェースケーブルを接続するコネクターです。

ケーブルの抜き差しは本体の電源が供給されていない状態で行ってください。

電源が供給された状態でケーブルを接続した場合、一度電源の供給を切って10秒後に電源を再度供給してください。

（14）DC IN

電源入力のコネクターです。

付属のACアダプター、もしくはDC9～18Vの電源を接続します。

（15）SDI OUT 1

3G/HD-SDI信号を出力するコネクターです。

4分割、6分割画面映像を出力します。

メニュー表示操作でオンスクリーンメニューが表示されますが、非表示にも設定できます。

（16）SDI OUT 2

3G/HD-SDI信号を出力するコネクターです。

4分割、6分割、フル画面映像を出力します。

メニュー表示操作でオンスクリーンメニューが表示されます。

（17）LTC(将来対応）

LTC信号を入力するコネクターです。

（18）REF IN(将来対応）

リファレンス信号を入力するコネクターです。

（19）SDI IN 1～4

3G/HD-SDI信号を入力するコネクターです。

4. 操作方法

1. 基本操作

（1）本体のDC INにACアダプターを接続して電源を投入します。

電源を投入すると正面のPWRランプが緑色で点灯します。

工場出荷時の設定ではSDI IN 1～4を4分割した映像が、SDI OUT 1と2に1080i59フォーマットで出力されます。

（2）SMV-30Hの各種設定は本体正面のボタン操作で行います。

LOCK / ALM CLR スイッチを 下 の状態にします。

MENU/ESC ボタンを押すとボタンのランプが点灯し、SDI OUT 1と2にオンスクリーンメニューが表示されます。

▲ ▼ ボタンを押してカーソル[＞]を移動して項目を選択します。

SET ボタンを押してメニュー階層を進めていき、項目を選択します。

MENU/ESC ボタンを押すと項目のキャンセルやメニュー階層を戻ります。

メニューを終了する場合はトップメニューで MENU/ESC ボタンを押します。

2. メニューツリー

MENU

- ERROR LOG 【ERROR LOG】 オススクリーンで ERROR LOG を表示します。
  - SDI IN1 【SDI IN1】 SDI IN 1 の ERROR LOG を表示します。
  - SDI IN4 【SDI IN4】 SDI IN 4 の ERROR LOG を表示します。
  - LOG DISP 【LOG DISP】 LOG FILTER による ERROR LOG の表示設定をします。
    - ALL 【ALL】 LOG FILTER が OFF と HIGH に設定された項目を表示します。
    - HIGH 【HIGH】 LOG FILTER が HIGH に設定された項目のみを表示します。
  - LOG CLEAR 【LOG CLEAR】 ERROR LOG をクリアーします。
    - SDI1 【SDI1】 SDI IN 1 の ERROR LOG をクリアーします。
      - YES=SET ボタン 【CLEAR?】 操作を実行します。
      - NO=MENU/ESC ボタン 操作を実行しません。
    - SDI4 【SDI4】 SDI IN 4 の ERROR LOG をクリアーします。
      - SDI1 に同じ
    - ALL 【ALL】 SDI IN 1、2、3、4 の ERROR LOG をクリアーします。
      - SDI1 に同じ
  - LOG MODE 【LOG MOE】 ERROR LOG の並び順を設定します。
    - ZtoA 【ZtoA】 ログを記録の順に下から上へ表示します。
    - AtoZ 【AtoZ】 ログを記録の順に上から下へ表示します。
- LOG FILTER 【LOG FILTER】 ERROR LOG の表示設定を行います。
  - ALL SET 【ALL SET】 ERROR LOG の表示設定を下記の内容で全項目一斉に設定します。
    - OFF 【OFF】 LOG DISP の設定が ALL の時のみに ERROR LOG を表示します。
    - ON 【ON】 ログを表示しません。(FILTER ON)
    - HIGH 【HIGH】 LOG DISP の設定が ALL と HIGH の時に ERROR LOG を表示します。
  - SDI SIGNAL 【SDI SIGNAL】 SDI 信号無しエラーの表示設定をします。
    - ALL SET に同じ
  - TRS 【TRS】 TRS エラーの表示設定をします。
    - ALL SET に同じ
  - LINE NUMBER 【LINE NUM】 LINE NUMBER エラーの表示設定をします。
    - ALL SET に同じ
  - CRC Y 【CRC Y】 Y 信号の CRC エラーの表示設定をします。
    - ALL SET に同じ
  - CRC C 【CRC C】 C 信号の CRC エラーの表示設定をします。
    - ALL SET に同じ

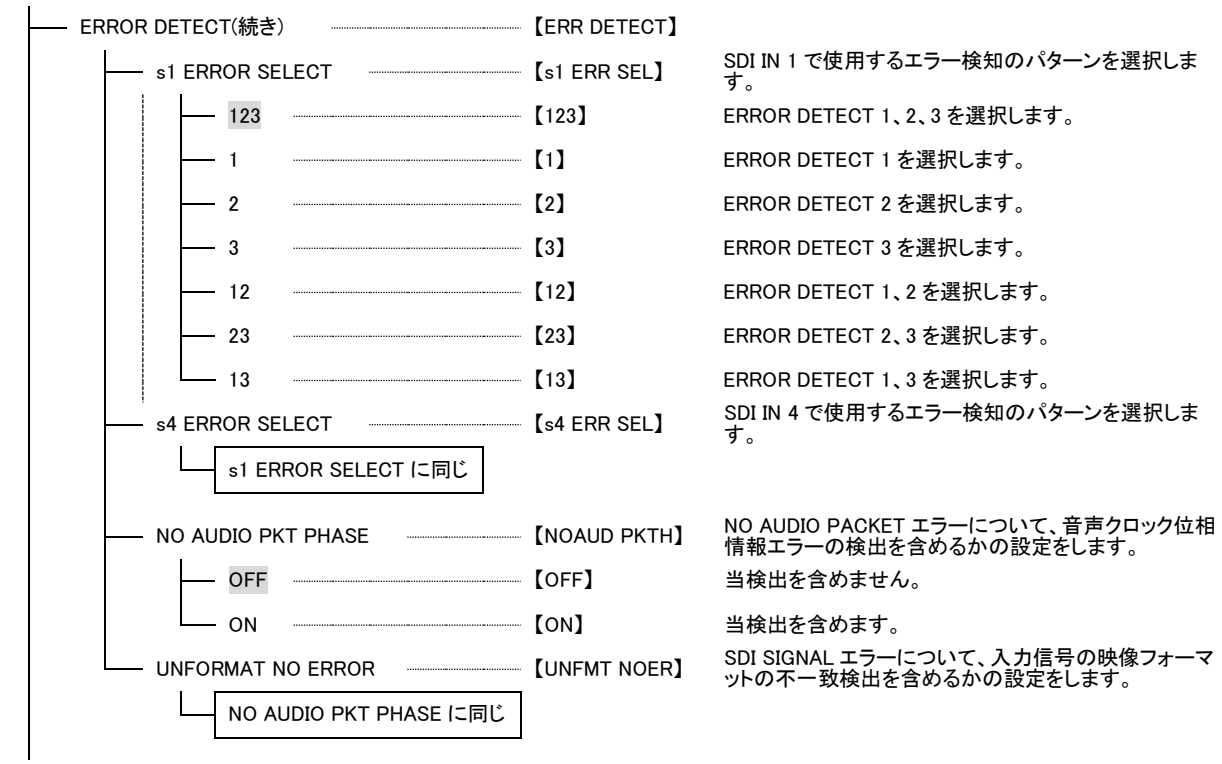
MENU

- LOG FILTER(続き) …… 【LOG FILTER】
  - LINE LENGTH …… 【LINE LEN】 LINE LENGTH エラーの表示設定をします。
    - ALL SET に同じ
  - FIELD LENGTH …… 【FIELD LEN】 FIELD LENGTH エラーの表示設定をします。
    - ALL SET に同じ
  - RESERVED DATA …… 【RSV DATA】 RESERVED DATA エラーの表示設定をします。
    - ALL SET に同じ
  - ANC PARITY …… 【ANC PARITY】 ANCILLARY PARITY エラーの表示設定をします。
    - ALL SET に同じ
  - ANC CHECKSUM …… 【ANC CSUM】 ANCILLARY CHECKSUM エラーの表示設定をします。
    - ALL SET に同じ
  - BCH …… 【BCH】 AUDIO BCH エラーの表示設定をします。
    - ALL SET に同じ
  - AUDIO PACKET …… 【AUDIO PKT】 AUDIO DATA PACKET DBN インクリメントエラーの表示設定をします。
    - ALL SET に同じ
  - NO AUDIO …… 【NO AUDIO】 NO AUDIO PACKET エラーの表示設定をします。
    - ALL SET に同じ
  - MUTE …… 【MUTE】 MUTE エラーの表示設定をします。
    - ALL SET に同じ
  - BLACK …… 【BLACK】 BLACK エラーの表示設定をします。
    - ALL SET に同じ
  - FREEZE …… 【FREEZE】 FREEZE エラーの表示設定をします。
    - ALL SET に同じ
  - BLUE …… 【BLUE】 BLUE エラーの表示設定をします。
    - ALL SET に同じ
  - COMPARE …… 【COMPARE】 COMPARE エラーの表示設定をします。
    - ALL SET に同じ
  - ASYNC …… 【ASYNC】 ASYNC エラーの表示設定をします。(将来対応)
    - ALL SET に同じ

MENU

ERROR DETECT	【ERR DETECT】	エラー検出の設定とその検出状態の表示を行います。
START STOP	【START STOP】	エラー検出の開始/停止を設定します。
START	【START】	エラー検出を開始します。
STOP	【STOP】	エラー検出を停止します。
s1 ERROR DETECT	【s1 ERR DET】	SDI IN 1 のエラー検出の状態を表示します。
COUNT CLEAR	【COUNT CLR】	エラーカウントをクリアーします。
YES=SET ボタン	【SET?】	操作を実行します。
NO=MENU/ESC ボタン		操作を実行しません。
SDI SIGNAL	【SDI SIGNAL】	SDI 信号無しエラーの状態を表示します。
TRS	【TRS】	TRS エラーの状態を表示します。
LINE NUMBER	【LINE NUM】	LINE NUMBER エラーの状態を表示します。
CRC Y	【CRC Y】	Y 信号の CRC エラーの状態を表示します。
CRC C	【CRC C】	C 信号の CRC エラーの状態を表示します。
LINE LENGTH	【LINE LEN】	LINE LENGTH エラーの状態を表示します。
FIELD LENGTH	【FIELD LEN】	FIELD LENGTH エラーの状態を表示します。
RESERVED DATA	【RSV DATA】	RESERVED DATA エラーの状態を表示します。
ANC PARITY	【ANC PARITY】	ANCILLARY PARITY エラーの状態を表示します。
ANC CHECKSUM	【ANC CSUM】	ANCILLARY CHECKSUM エラーの状態を表示します。
BCH	【BCH】	AUDIO BCH エラーの状態を表示します。
AUDIO PACKET	【AUDIO PKT】	AUDIO DATA PACKET DBN インクリメントエラーの状態を表示します。
NO AUDIO	【NO AUDIO】	NO AUDIO PACKET エラーの状態を表示します。
MUTE	【MUTE】	MUTE エラーの状態を表示します。
BLACK	【BLACK】	BLACK エラーの状態を表示します。
FREEZE	【FREEZE】	FREEZE エラーの状態を表示します。
BLUE	【BLUE】	BLUE エラーの状態を表示します。
COMPARE	【COMPARE】	COMPARE エラーの状態を表示します。
ASYNC	【ASYNC】	ASYNC エラーの状態を表示します。(将来対応)
s4 ERROR DETECT	【s4 ERR DET】	SDI IN 4 のエラー検出の状態を表示します。
s1 ERROR DETECT に同じ		

MENU


ERROR DETECT(続き) 【ERR DETECT】
s1 ERROR SELECT 【s1 ERR SEL】
SDI IN 1 で使用するエラー検知のパターンを選択します。
123 【123】
ERROR DETECT 1、2、3 を選択します。
1 【1】
ERROR DETECT 1 を選択します。
2 【2】
ERROR DETECT 2 を選択します。
3 【3】
ERROR DETECT 3 を選択します。
12 【12】
ERROR DETECT 1、2 を選択します。
23 【23】
ERROR DETECT 2、3 を選択します。
13 【13】
ERROR DETECT 1、3 を選択します。
s4 ERROR SELECT 【s4 ERR SEL】
SDI IN 4 で使用するエラー検知のパターンを選択します。
s1 ERROR SELECT に同じ
NO AUDIO PKT PHASE 【NOAUD PKTH】
NO AUDIO PACKET エラーについて、音声クロック位相情報エラーの検出を含めるかの設定をします。
OFF 【OFF】
当検出を含めません。
ON 【ON】
当検出を含めます。
UNFORMAT NO ERROR 【UNFMT NOER】
SDI SIGNAL エラーについて、入力信号の映像フォーマットの不一致検出を含めるかの設定をします。
NO AUDIO PKT PHASE に同じ

MENU

- PRESET 【PRESET】 各エラー検出の有無をプリセットとして設定します。
  - s1 ERROR PRESET 【s1 ERR PRE】 SDI IN 1 のエラー検出のパラメータを設定します。
    - s1 ERROR DETECT1 【s1 ER DET1】 エラー検知 1 で使用するプリセットパターンを設定します。
      - 1～9 【1～9】 プリセットパターン 1～9(PRESET1～9)を選択します。
      - OFF 【OFF】 エラー検出を行いません。
    - s1 ERROR DETECT3 【s1 ER DET3】 エラー検知 3 で使用するプリセットパターンをを設定します。
      - s1 ERROR DETECT1 に同じ 【OFF】 工場出荷設定は OFF です。
    - s1 MUTE 【s1 MUTE】 MUTE 音声検出のパラメータ設定をします。
      - s1 TIME1 【s1 TIME1】 ERROR DETECT1 の検出時間を設定します。
        - 1～5～660 【5】 検出時間を秒単位で設定します。
      - s1 TIME3 【s1 TIME3】 ERROR DETECT3 の検出時間を設定します。
        - s1 TIME1 に同じ
      - s1-4 LEVEL 【s1-4 LEVEL】 MUTE を検出する音声レベルを設定します。SDI IN 1～4 共通です。
        - -80～-60 【-80】 音声レベルを dBFS で設定します。
      - s1 CHANNEL1 【s1 CHANNEL1】 チャンネル 1 検出の設定をします。
        - OFF 【OFF】 検出を無効にします。
        - ON 【ON】 検出を有効にします。
      - s1 CHANNEL4 【s1 CHANNEL4】 チャンネル 4 検出の設定をします。
        - s1 CH1 に同じ
      - s1 CHANNEL5 【s1 CHANNEL5】 チャンネル 5 検出の設定をします。
        - OFF 【OFF】 検出を無効にします。
        - ON 【ON】 検出を有効にします。
      - s1 CHANNEL8 【s1 CHANNEL8】 チャンネル 8 検出の設定をします。
        - s1 CH5 に同じ
      - s1 CH MODE 【s1 CH MODE】 チャンネルの検出条件を設定します。
        - OR 【OR】 音声の無音を OR 条件で検出します。
        - AND 【AND】 音声の無音を AND 条件で検出します。
    - s1 BLACK 【s1 BLACK】 BLACK 映像検出のパラメータ設定をします。
      - s1 TIME1 【s1 TIME1】 ERROR DETECT1 の検出時間を設定します。
        - 0～5～660 【5】 検出時間を秒単位で設定します。
      - s1 TIME3 【s1 TIME3】 ERROR DETECT3 の検出時間を設定します。
        - s1 TIME1 に同じ
      - s1-4 LEVEL 【s1-4 LEVEL】 BLACK を検出する輝度レベルを設定します。SDI IN 1～4 共通です。
        - 0～99 【0】 輝度レベルを IRE で設定します。

MENU

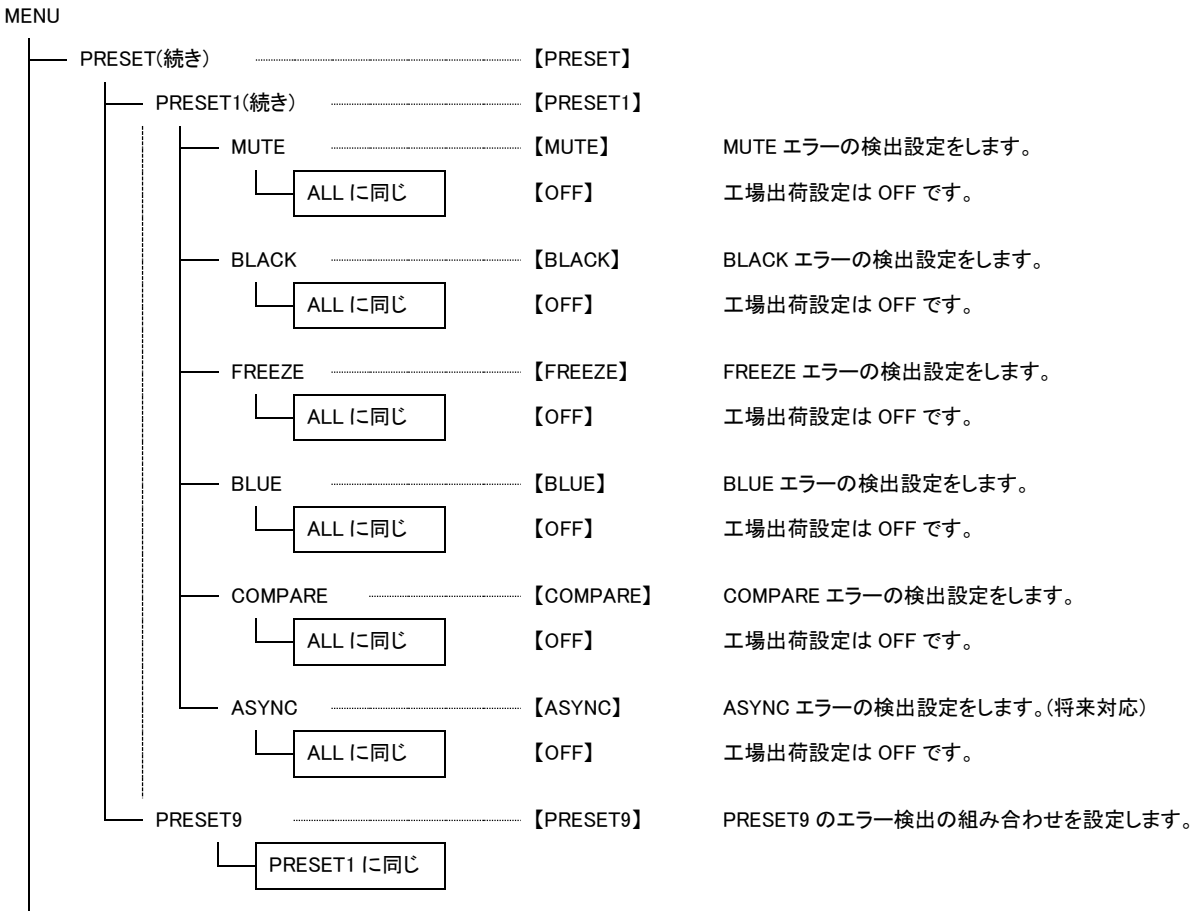
- PRESET(続き) …… 【PRESET】
  - s1 ERROR PRESET(続き) …… 【s1 ERR PRE】
    - s1 FREEZE …… 【s1 FREEZE】 FREEZE 映像検出のパラメータ設定をします。
      - s1 TIME1 …… 【s1 TIME1】 ERROR DETECT1 の検出時間を設定します。
        - 0～150～19800 【150】 検出時間をフレーム単位で設定します。
      - s1 TIME3 …… 【s1 TIME3】 ERROR DETECT3 の検出時間を設定します。
        - s1 TIME1 に同じ
    - s1 BLUE …… 【s1 BLUE】 BLUE 映像検出のパラメータ設定をします。
      - s1 TIME1 …… 【s1 TIME1】 ERROR DETECT1 の検出時間を設定します。
        - 0～5～660 【5】 検出時間を秒単位で設定します。
      - s1 TIME3 …… 【s1 TIME3】 ERROR DETECT3 の検出時間を設定します。
        - s1 TIME1 に同じ
    - s1 COMPARE …… 【s1 COMPARE】 COMPARE 映像検出のパラメータ設定をします。
      - s1 TIME1 …… 【s1 TIME1】 ERROR DETECT1 の検出時間を設定します。
        - 0～150～19800 【150】 検出時間をフレーム単位で設定します。
      - s1 TIME3 …… 【s1 TIME3】 ERROR DETECT3 の検出時間を設定します。
        - s1 TIME1 に同じ
      - s1 DELAY …… 【s1 DELAY】 比較を行う映像の遅延時間を設定します。
        - 0～240 …… 【0】 遅延時間をフレーム単位で設定します。

MENU

- PRESET(続き) …… 【PRESET】
  - s1 ERROR PRESET(続き) …… 【s1 ERR PRE】
    - s1 MASK …… 【s1 MASK】 — BLACK、FREEZE の検出範囲を決める MASK 設定をします。
      - s1 MASK …… 【s1 MASK】 — MASK の有効・無効を設定します。
        - OFF …… 【OFF】 — MASK を無効にします。
        - ON …… 【ON】 — MASK を有効にします。
      - s1 PRESET …… 【s1 PRESET】 — プリセットパターンを選択します。
        - 1～8 …… 【1】 — 1～8 を設定します。
      - s1 LEFT …… 【s1 LEFT】 — MASK の左位置を設定します。
        - 24～860～1895 …… 【860】 — ピクセル単位で指定します。
      - s1 RIGHT …… 【s1 RIGHT】 — MASK の右位置を設定します。
        - 25～1060～1896 …… 【1060】 — ピクセル単位で指定します。
      - s1 TOP …… 【s1 TOP】 — MASK の上位置を設定します。
        - 14～440～1067 …… 【440】 — ピクセル単位で指定します。
      - s1 BOTTOM …… 【s1 BOTTOM】 — MASK の下位置を設定します。
        - 15～640～1068 …… 【640】 — ピクセル単位で指定します。
      - s1 H MOVE …… 【s1 H MOVE】 — 全体を横方向に移動させます。
        - 0 …… 【0】 — 数値を+で右方向、-で左方向に移動します。
      - s1 V MOVE …… 【s1 V MOVE】 — 全体を縦方向に移動させます。
        - 0 …… 【0】 — 数値を+で下方向、-で上方向に移動します。
      - s1 REVERSE …… 【s1 REVERS】 — MASK の反転設定をします。
        - OFF …… 【OFF】 — MASK を反転しません。
        - ON …… 【ON】 — MASK を反転します。
      - s1-4 LEVEL …… 【LEVEL】 — MASK カーソルの透過レベルを設定します。SDI IN 1～4 共通です。
        - 1～4 …… 【4】 — 1～4 を設定します。
  - s4 ERROR PRESET …… 【s4 ERR PRE】 — SDI IN 4 のエラー検出のパラメータを設定します。
    - [s1 ERROR PRESET に同じ]
  - COMPARE PARAM …… 【COMP PARAM】 — COMPARE 映像検出の共通パラメータ設定をします。
    - MODE …… 【MODE】 — 検出モードを設定します。
      - ALL …… 【ALL】 — SDI IN 1～SDI IN 4 の全ての入力で検出を行います。
      - PAIR …… 【PAIR】 — SDI IN 1 と 2、SDI IN 3 と 4 の各ペアで検出を行います。
    - s2s4 FRAME …… 【s2s4 FRAME】 — 映像比較で参照するフレームの数を設定します。MODE 設定が PAIR の時に有効な設定です。
      - 1～3 …… 【1】 — 参照するフレーム数を設定します。
    - s1-4 RANGE …… 【s1-4 RANGE】 — エラー判定を行う映像領域を設定します。
      - 80～100 …… 【100】 — 映像領域を%で設定します。

MENU

- PRESET(続き) …… 【PRESET】
  - PRESET1 …… 【PRESET1】 プリセットパターン1のエラー検出の組み合わせを設定します。
    - ALL …… 【ALL】 全エラー検出項目を一斉に設定します。
      - OFF …… 【OFF】 OFF に設定します。
      - OR …… 【OR】 OR 条件で検出します。
      - AND …… 【AND】 AND 条件で検出します。
    - SDI SIGNAL …… 【SDI SIGNAL】 SDI 信号無しエラーの検出設定をします。
      - ALL に同じ 【OR】 工場出荷設定は OR です。
    - TRS …… 【TRS】 TRS エラーの検出設定をします。
      - ALL に同じ 【OR】 工場出荷設定は OR です。
    - LINE NUMBER …… 【LINE NUM】 LINE NUMBER エラーの検出設定をします。
      - ALL に同じ 【OR】 工場出荷設定は OR です。
    - CRC Y …… 【CRC Y】 Y 信号の CRC エラーの検出設定をします。
      - ALL に同じ 【OR】 工場出荷設定は OR です。
    - CRC C …… 【CRC C】 C 信号の CRC エラーの検出設定をします。
      - ALL に同じ 【OR】 工場出荷設定は OR です。
    - LINE LENGTH …… 【LINE LEN】 LINE LENGTH エラーの検出設定をします。
      - ALL に同じ 【OR】 工場出荷設定は OR です。
    - FIELD LENGTH …… 【FIELD LEN】 FIELD LENGTH エラーの検出設定をします。
      - ALL に同じ 【OR】 工場出荷設定は OR です。
    - RESERVED DATA …… 【RSV DATA】 RESERVED DATA エラーの検出設定をします。
      - ALL に同じ 【OR】 工場出荷設定は OR です。
    - ANC PARITY …… 【ANC PARITY】 ANC PARITY エラーの検出設定をします。
      - ALL に同じ 【OR】 工場出荷設定は OR です。
    - ANC CHECKSUM …… 【ANC SUM】 ANC CHECKSUM エラーの検出設定をします。
      - ALL に同じ 【OR】 工場出荷設定は OR です。
    - BCH …… 【BCH】 BCH エラーの検出設定をします。
      - ALL に同じ 【OR】 工場出荷設定は OR です。
    - AUDIO PACKET …… 【AUDIO PKT】 AUDIO PACKET エラーの検出設定をします。
      - ALL に同じ 【OR】 工場出荷設定は OR です。
    - NO AUDIO PACKET …… 【NO AUDIO】 NO AUDIO PACKET エラーの検出設定をします。
      - ALL に同じ 【OR】 工場出荷設定は OR です。


MENU
PRESET(続き)
【PRESET】
PRESET1(続き)
【PRESET1】
MUTE
【MUTE】
MUTE エラーの検出設定をします。
ALL に同じ
【OFF】
工場出荷設定は OFF です。
BLACK
【BLACK】
BLACK エラーの検出設定をします。
ALL に同じ
【OFF】
工場出荷設定は OFF です。
FREEZE
【FREEZE】
FREEZE エラーの検出設定をします。
ALL に同じ
【OFF】
工場出荷設定は OFF です。
BLUE
【BLUE】
BLUE エラーの検出設定をします。
ALL に同じ
【OFF】
工場出荷設定は OFF です。
COMPARE
【COMPARE】
COMPARE エラーの検出設定をします。
ALL に同じ
【OFF】
工場出荷設定は OFF です。
ASYNC
【ASYNC】
ASYNC エラーの検出設定をします。(将来対応)
ALL に同じ
【OFF】
工場出荷設定は OFF です。
PRESET9
【PRESET9】
PRESET9 のエラー検出の組み合わせを設定します。
PRESET1 に同じ

MENU

GPI	【GPI】	オプションの GPI 制御を設定します。※1
HOLD MODE	【HOLD MODE】	アラーム出力の保持機能を設定します。
HOLD MODE	【HOLD MODE】	有効/無効を設定します。
OFF	【OFF】	保持機能を無効にします。
ON	【ON】	保持機能を有効にします。
HOLD MODE TIME	【HOLD TIME】	アラーム出力の自動リセット時間を設定します。
0～99	【0】	自動リセット時間を 0～99(分)で設定します。
HOLD RESET	【HOLD RESET】	保持されたエラー出力をリセットします。
YES=SET ボタン	【RESET?】	解除操作を実行します。
NO=MENU/ESC ボタン		解除操作を実行しません。
FREE ASSIGN	【FREE ASG】	GPI の割り当てをカスタマイズします。
IN 1	【IN 1】	GPI の IN 1 をカスタマイズします。
OFF	【OFF】	未使用にします。
SDI IN 1 OA TALLY	【S1 OA TALLY】	SDI IN 1 OA TALLY 入力にします。
SDI IN 1 NEXT TALLY	【S1 NX TALLY】	SDI IN 1 NEXT TALLY 入力にします。
SDI IN 4 OA TALLY	【S4 OA TALLY】	SDI IN 4 OA TALLY 入力にします。
SDI IN 4 NEXT TALLY	【S4 NX TALLY】	SDI IN 4 NEXT TALLY 入力にします。
ERROR DET START	【DET START】	ERROR DETECT START 入力にします。
ERROR DET STOP	【DET STOP】	ERROR DETECT STOP 入力にします。
OUT2 MULTI	【OUT2 MULTI 】	SDI OUT 2 を MULTI SCREEN へ切り替えます。
OUT2 SDI IN1	【OUT2 S1】	SDI OUT 2 を SDI IN 1 へ切り替えます。
OUT2 SDI IN4	【OUT2 S4】	SDI OUT 2 を SDI IN 4 へ切り替えます。
OUT2 SEQUENTIAL	【OUT2 SEQ】	SDI OUT 2 を SEQUENTIAL へ切り替えます。
OUT2 TIME	【OUT2 TIME】	SDI OUT 2 を TIME へ切り替えます。
HOLD RESET	【HOLD RESET】	エラーホールドを解除します。
IN 8	【GPI IN 6】	GPI の IN 8 をカスタマイズします。
IN 1 に同じ		

MENU

- GPI(続き) …… 【GPI】
  - FREE ASSIGN(続き) …… 【FREE ASG】
    - OUT1 …… 【OUT1】 GPI の OUT 1 をカスタマイズします。
      - OFF …… 【OFF】 未使用にします。
      - SDI IN1 OA TALLY 【S1 OA TALLY】 SDI IN 1 OA TALLY 出力にします。
      - SDI IN1 NEXT TALLY 【S1 NX TALLY】 SDI IN 1 NEXT TALLY 出力にします。
      - ⋮
      - SDI IN4 OA TALLY 【S4 OA TALLY】 SDI IN 4 OA TALLY 出力にします。
      - SDI IN4 NEXT TALLY 【S4 NX TALLY】 SDI IN 4 NEXT TALLY 出力にします。
      - ERROR DET START …… 【DET START】 ERROR DETECT START 出力にします。
      - ERROR DET STOP …… 【DET STOP】 ERROR DETECT STOP 出力にします。
      - OUT2 MULTI …… 【OUT2 MULTI】 SDI OUT 2 が MULTI SCREEN の時に出力します。
      - OUT2 SDI IN1 …… 【OUT2 S1】 SDI OUT 2 が SDI IN 1 の時に出力します。
      - ⋮
      - OUT2 SDI IN4 …… 【OUT2 S4】 SDI OUT 2 が SDI IN 4 の時に出力します。
      - OUT2 SEQUENTIAL 【OUT2 SEQ】 SDI OUT 2 が SEQUENTIAL の時に出力します。
      - OUT2 TIME …… 【OUT2 TIME】 SDI OUT 2 が TIME の時に出力します。
      - SDI IN1 ERROR …… 【S1 ERROR】 s1 ERROR SELECT で選択したパターンが検出された時に出力します。(以下 SDI IN 1 の設定)
      - SDI IN1 ERROR123 …… 【S1 ERROR123】 ERROR DETECT1、2、3 が検出した時に出力します。
      - SDI IN1 ERROR1 …… 【S1 ERROR1】 ERROR DETECT 1 が検出した時に出力します。
      - SDI IN1 ERROR2 …… 【S1 ERROR2】 ERROR DETECT 2 が検出した時に出力します。
      - SDI IN1 ERROR3 …… 【S1 ERROR3】 ERROR DETECT 3 が検出した時に出力します。
      - SDI IN1 ERROR12 …… 【S1 ERROR12】 ERROR DETECT 1、2 が検出した時に出力します。
      - SDI IN1 ERROR23 …… 【S1 ERROR23】 ERROR DETECT 2、3 が検出した時に出力します。
      - SDI IN1 ERROR13 …… 【S1 ERROR13】 ERROR DETECT 1、3 が検出した時に出力します。
      - SDI IN2 ERROR …… 【S2 ERROR】 s2 ERROR SELECT で選択したパターンが検出された時に出力します。
      - SDI IN2 で IN1 ERROR と同じ組み合わせ
      - SDI IN3 ERROR …… 【S3 ERROR】 s3 ERROR SELECT で選択したパターンが検出された時に出力します。
      - SDI IN3 で IN1 ERROR と同じ組み合わせ
      - SDI IN4 ERROR …… 【S4 ERROR】 s4 ERROR SELECT で選択したパターンが検出された時に出力します。
      - SDI IN4 で IN1 ERROR と同じ組み合わせ
    - OUT8 …… 【OUT2】 GPI の OUT 8 をカスタマイズします。
      - OUT1 に同じ

MENU

- GPI(続き) …… 【GPI】
  - OA TALLY …… 【OA TALLY】 OA タリーを点灯させます。
    - SDI IN1 …… 【SDI IN1】 SDI IN 1 の OA タリーを点灯させます。
    - ⋮
    - SDI IN4 …… 【SDI IN4】 SDI IN 4 の OA タリーを点灯させます。
  - NEXT TALLY …… 【NEXT TALLY】 NEXT タリーを点灯させます。
    - SDI IN1 …… 【SDI IN1】 SDI IN 1 の NEXT タリーを点灯させます。
    - SDI IN2 …… 【SDI IN2】 SDI IN 2 の NEXT タリーを点灯させます。
    - ⋮
    - SDI IN4 …… 【SDI IN4】 SDI IN 4 の NEXT タリーを点灯させます。

MENU

SYSTEM	【SYSTEM】	システムに関する各種設定を行います。
FORMAT	【FORMAT】	出力信号の映像フォーマットを切り替えます。※2
1080i60	【1080i60】	1080i60 に設定します。(将来対応)
1080i59.94	【1080i59】	1080i59.94 に設定します。
1080i50	【1080i50】	1080i50 に設定します。(将来対応)
1080p60A	【1080p60A】	1080p60 Level-A に設定します。(将来対応)
1080p59A	【1080p59A】	1080p59.94 Level-A に設定します。
1080p50A	【1080p50A】	1080p50 Level-A に設定します。(将来対応)
1080p30	【1080p30】	1080p30 に設定します。(将来対応)
1080p29.97	【1080p29】	1080p29.97 に設定します。(将来対応)
1080p25	【1080p25】	1080p25 に設定します。(将来対応)
1080p24	【1080p24】	1080p24 に設定します。(将来対応)
1080p23.98	【1080p23】	1080p23.98 に設定します。(将来対応)
1080sF30	【1080sF30】	1080sF30 に設定します。(将来対応)
1080sF29.97	【1080sF29】	1080sF29.97 に設定します。(将来対応)
1080sF25	【1080sF25】	1080sF25 に設定します。(将来対応)
1080sF24	【1080sF24】	1080sF24 に設定します。(将来対応)
1080sF23.98	【1080sF23】	1080sF23.98 に設定します。(将来対応)
REFERENCE SELECT	【REF SEL】	リファレンス信号を選択します。(将来対応)
REF IN	【REF IN】	背面 REF IN に入力されているリファレンス信号に同期します。
LINE DIRECT	【LINE DIR】	SDI IN 1 の映像信号に同期します。
GENLOCK PHASE	【PHASE】	REF IN 設定時の SDI 出力の位相を設定します。 LINE DIRECT 設定時はこの設定が無視されます。 (将来対応)
H	【H】	水平位相を設定します。
-2749～0～2199	【0】	
V	【V】	垂直位相を設定ます。
-1124～0～1124	【0】	

MENU

- SYSTEM(続き) …… 【SYSTEM】
  - SYSEM TIME …… 【SYS TIME】 内部時計を設定します。内部時計の時刻は、ログ機能、時計表示でのみ使用されます。
    - yy …… 【yy】 年を設定します。
      - 0 …… 【0】
    - mm …… 【mm】 月を設定します。
      - 0 …… 【0】
    - dd …… 【dd】 日を設定します。
      - 0 …… 【0】
    - hh …… 【hh】 時を設定します。
      - 0 …… 【0】
    - mm …… 【mm】 分を設定します。
      - 0 …… 【0】
    - ss …… 【ss】 秒を設定します。
      - 0 …… 【0】
    - LTC IN …… 【LTC IN】 LTC コネクターに接続されている LTC に合わせます。(将来対応)
    - ATC …… 【ATC】 SDI IN の ATC に合わせます。
      - SDI1 LTC …… 【SDI1 LTC】 SDI IN 1 の ANC LTC に合わせます。
      - SDI1 VITC …… 【SDI1 VITC】 SDI IN 1 の ANC VITC に合わせます。
      - ⋮
      - SDI4 LTC …… 【SDI4 LTC】 SDI IN 4 の ANC LTC に合わせます。
      - SDI4 VITC …… 【SDI4 VITC】 SDI IN 4 の ANC VITC に合わせます。
  - SWN FILTER …… 【SWN FILTER】 SWN FILTER を設定します。
    - OFF …… 【OFF】 OFF に設定します。
    - ON …… 【ON】 ON に設定します。
  - PAYLOAD HD …… 【PAYLOAD HD】 PAYLOAD ID を HD-SDI 出力時に重畳するかを設定します。
    - DISABLE …… 【DISABLE】 DISABLE に設定します。
    - ENABLE …… 【ENABLE】 ENABLE に設定します。

MENU

- CONFIG 【CONFIG】 機能に関する各種設定を行います。
  - DISPLAY 【DISPLAY】 オンスクリーン表示に関する設定を行います。
    - MULTI SCREEN 【MULTI SCRN】 MULTI SCREEN の分割数を設定します。
      - 4 SCREENS 【4 SCREENS】 4 分割画面にします。
      - 6 SCREENS 【6 SCREENS】 6 分割画面にします。
    - OUT1 OSD MENU 【OUT1 MENU】 SDI OUT1 のオンスクリーン表示を設定します。
      - DISABLE 【DISABLE】 表示を無効にします。
      - ENABLE 【ENABLE】 表示を有効にします。
    - OUT1 INFO DISP 【OUT1 INFO】 SDI OUT 1 の情報表示を設定します。
      - SDI IN1 【SDI IN1】 SDI IN 1 の設定をします。
        - DISABLE 【DISABLE】 情報表示をしません。
        - STATUS 【STATUS】 STATUS を表示します。
        - LOG 【LOG】 LOG を表示します。
      - SDI IN4 【SDI IN4】 SDI IN 4 の設定をします。
        - SDI IN1 に同じ
    - OUT2 INFO DISP 【OUT2 INFO】 SDI OUT 2 の情報表示を設定します。
      - SDI IN1 【SDI IN1】 SDI IN 1 の設定をします。
        - DISABLE 【DISABLE】 情報表示をしません。
        - STATUS 【STATUS】 STATUS を表示します。
        - LOG 【LOG】 LOG を表示します。
      - SDI IN4 【SDI IN4】 SDI IN 4 の設定をします。
        - SDI IN1 に同じ
      - SEQUENTIAL 【SEQUENTIAL】 SEQUENTIAL 画面の設定をします。
        - SDI IN1 に同じ
    - OSD BRIGHT 【OSD BRIGHT】 オンスクリーンメニューの輝度を設定します。
      - 0～100 【100】 工場出荷時設定は 100%です。
  - SDI OUT2 【SDI OUT2】 SDI OUT 2 の出力を設定します。
    - MULTI SCREEN 【MULTI】 4 もしくは 6 分割画面を出力します。
    - SDI IN1 【SDI IN 1】 SDI IN 1 を出力します。
    - SDI IN4 【SDI IN 4】 SDI IN 4 を出力します。
    - SEQUENTIAL 【SEQUENTIAL】 シーケンシャル切り替え映像を出力します。
    - TIME 【TIME】 タイムコード表示を出力します。

MENU

- CONFIG(続き) …… 【CONFIG】
  - 4 SCREENS …… 【4 SCREENS】 4 分割画面の設定を行います。
    - SDI IN1 PARAM …… 【TOP LEFT】 SDI IN 1 の画面を設定します。
      - DISP SELECT …… 【DISP SEL】 表示をする映像を選択します。
        - SDI IN1 …… 【SDI IN1】 SDI IN 1 を表示します。
        - BLACK …… 【BLACK】 黒画面にします。
        - TIME …… 【TIME】 内部時計やタイムコードを表示します。
      - CHARACTER …… 【CHARACTER】 表示する名称を設定します。 ※3
        - OFF …… 【OFF】 表示しません。
        - AUTO …… 【AUTO】 自動で設定した名称を表示します。
        - TITLE …… 【TITLE】 タイトル設定をした名称を表示します。
      - CHARACTER POSI …… 【CHR POSI】 表示をする名称の位置を設定します。※3
        - TOP LEFT …… 【TOP LEFT】 左上に表示します。
        - TOP CENTER …… 【TOP CENTER】 中央上に表示します。
        - TOP RIGHT …… 【TOP RIGHT】 右上に表示します。
        - BOTTOM LEFT …… 【BTM LEFT】 左下に表示します。
        - BOTTOM CENTER 【BTM CENTER】 中央下に表示します。
        - BOTTOM RIGHT 【BTM RIGHT】 右下に表示します。
      - STATUS DISP …… 【STATUS DSP】 STATUS の表示を設定します。
        - TIME CODE SOURCE …… 【TC SOURCE】 表示をするタイムコードを選択します。
          - LTC …… 【LTC】 ANC LTC を表示します。
          - VITC …… 【VITC】 ANC VITC を表示します。
        - NETQ MODE …… 【NETQ MODE】 NETQ の表示内容を選択します。
          - STATION 【STATION】 CI、発局コード、発局時間を表示します。
          - VIDEO AUDIO 【VID AUD】 映像フォーマット、TC、カレント映像モード、カレント音声モード、カレント DM 指定を表示します。
          - TRIGGER 【TRIGGER】 トリガ信号、同カウンタ、同カウントダウンを表示します。
          - STATUS BITS 【STS BITS】 ステータス信号を表示します。
      - AUDIO METER …… 【AUDIO MET】 音声レベルメーターの表示を設定します。
        - DISABLE …… 【DISABLE】 表示しません。
        - ENABLE …… 【ENABLE】 表示します。
    - SDI IN2 PARAM …… 【TOP RIGHT】 SDI IN 2 の画面を設定します。
      - DISP SELECT …… 【DISP SEL】 表示をする映像を選択します。
        - SDI IN2 …… 【SDI IN2】 SDI IN 2 を表示します。
        - BLACK …… 【BLACK】 黒画面にします。
        - TIME …… 【TIME】 内部時計やタイムコードを表示します。
      - 以下、SDI IN1 PARAM に同じ

MENU

- CONFIG(続き) …… 【CONFIG】
  - 4 SCREENS(続き) …… 【4 SCREENS】
    - SDI IN3 PARAM …… 【BTM LEFT】 SDI IN 3 の画面を設定します。
      - DISP SELECT …… 【DISP SEL】 表示をする映像を選択します。
        - SDI IN3 …… 【SDI IN2】 SDI IN 3 を表示します。
        - BLACK …… 【BLACK】 黒画面にします。
        - TIME …… 【TIME】 内部時計やタイムコードを表示します。
      - 以下、SDI IN1 PARAM に同じ
    - SDI IN4 PARAM …… 【BTM RIGHT】 SDI IN 4 の画面を設定します。
      - DISP SELECT …… 【DISP SEL】 表示をする映像を選択します。
        - SDI IN4 …… 【SDI IN4】 SDI IN 4 を表示します。
        - BLACK …… 【BLACK】 黒画面にします。
        - TIME …… 【TIME】 内部時計やタイムコードを表示します。
      - 以下、SDI IN1 PARAM に同じ DISP SELECT の工場出荷設定は SDI IN4 です。
    - AUDIO MUTE …… 【AUDIO MUTE】 出力する音声をミュートします。
      - DISABLE …… 【DISABLE】 ミュートしません。
      - ENABLE …… 【ENABLE】 ミュートします。
    - TALLY PATTERN …… 【TALLY PAT】 タリー表示を設定します。
      - DISABLE …… 【DISABLE】 表示しません。
      - TALLY 1 …… 【TALLY1】 タリーパターン 1 を表示します。
      - TALLY 2 …… 【TALLY2】 タリーパターン 2 を表示します。
    - ERROR INFO …… 【ERR INFO】 SDI 信号のエラー情報表示の設定をします。
      - DISABLE …… 【DISABLE】 表示しません。
      - ENABLE …… 【ENABLE】 表示します。
    - ERROR FRAME …… 【ERR FRAME】 エラー発生時のフレーム表示を設定します。
      - DISABLE …… 【DISABLE】 表示しません。
      - NARROW FRAME …… 【NARROW FRM】 細いフレームを表示します。
      - WIDE FRAME …… 【WIDE FRM】 太いフレームを表示します。

MENU

CONFIG(続き)	【CONFIG】	
6 SCREENS	【6 SCREENS】	6 分割画面の設定を行います。
MAIN SCREEN	【MAIN SCRN】	メイン画面を設定します。
POSITION	【POSITION】	表示する位置を設定します。
TOP LEFT	【TOP LEFT】	左上にします。
TOP RIGHT	【TOP RIGHT】	右上にします。
BOTTOM LEFT	【BTM LEFT】	左下にします。
BOTTOM RIGHT	【BTM RIGHT】	右下にします。
DISP SELECT	【DISP SEL】	表示をする映像を選択します。
SDI IN1	【SDI IN1】	SDI IN 1 を表示します。
SDI IN4	【SDI IN4】	SDI IN 4 を表示します。
TIME	【TIME】	内部時計やタイムコードを表示します。
CHARACTER	【CHARACTER】	表示する名称を設定します。 ※3
OFF	【OFF】	表示しません。
AUTO	【AUTO】	自動で設定した名称を表示します。
TITLE	【TITLE】	タイトル設定をした名称を表示します。
CHARACTER POSI	【CHR POSI】	表示をする名称の位置を設定します。※3
TOP	【TOP】	上に表示します。
BOTTOM	【BTM】	下に表示します。

MENU

- CONFIG(続き) …… 【CONFIG】
  - 6 SCREENS(続き) …… 【6 SCREENS】
    - SDI IN1 PARAM …… 【SDI IN1】 SDI IN11 の画面を設定します。
      - DISP SELECT …… 【DISP SEL】 表示をする映像を選択します。
        - SDI IN …… 【SDI IN1】 SDI IN 1 を表示します。
        - BLACK …… 【BLACK】 黒画面にします。
      - CHARACTER …… 【CHARACTER】 表示する名称を設定します。 ※3
        - OFF …… 【OFF】 表示しません。
        - AUTO …… 【AUTO】 自動で設定した名称を表示します。
        - TITLE …… 【TITLE】 タイトル設定をした名称を表示します。
      - CHARACTER POSI …… 【CHR POSI】 表示をする名称の位置を設定します。※3
        - TOP …… 【TOP】 上に表示します。
        - BOTTOM …… 【BTM】 下に表示します。
      - AUDIO METER …… 【AUDIO MET】 音声レベルメーターの表示を設定します。
        - DISABLE …… 【DISABLE】 表示しません。
        - ENABLE …… 【ENABLE】 表示します。
    - SDI IN4 PARAM …… 【SCRN4】 SDI IN14 の画面を設定します。
      - DISP SELECT …… 【DISP SEL】 表示をする映像を選択します。
        - SDI IN …… 【SDI IN1】 SDI IN 4 を表示します。
        - BLACK …… 【BLACK】 黒画面にします。
      - 以下、SCREEN1 PARAM に同じ
    - AUDIO MODE …… 【AUDIO MODE】 出力する音声を選択します。
      - MAIN SCREEN …… 【MAIN SCRN】 MAIN SCREEN で選択されている映像の音声を出力します。
      - SDI IN 1 …… 【SDI IN1】 SDI IN 1 の音声を出力します。
      - SDI IN 4 …… 【SDI IN4】 SDI IN 4 の音声を出力します。
      - MUTE …… 【MUTE】 無音にします。
    - TALLY PATTERN …… 【TALLY PAT】 タリー表示を設定します。
      - DISABLE …… 【DISABLE】 表示しません。
      - TALLY 1 …… 【TALLY1】 タリーパターン 1 を表示します。
      - TALLY 2 …… 【TALLY2】 タリーパターン 2 を表示します。
    - ERROR INFO …… 【ERR INFO】 SDI 信号のエラー情報を設定します。
      - DISABLE …… 【DISABLE】 表示しません。
      - ENABLE …… 【ENABLE】 表示します。
    - ERROR FRAME …… 【ERR FRAME】 エラー発生時のフレーム表示を設定します。
      - DISABLE …… 【DISABLE】 表示しません。
      - NARROW FRAME …… 【NARROW FRM】 細いフレームを表示します。
      - WIDE FRAME …… 【WIDE FRM】 太いフレームを表示します。

MENU

- CONFIG(続き) …… 【CONFIG】
  - SEQUENTIAL …… 【SEQUENTIAL】 シーケンシャル切り替え表示の設定を行います。
    - TRANSTION TIME …… 【TRS TIME】 映像の切り替え時間を秒単位で設定します。
      - 1～5～180 …… 【5】
    - SDI IN1 …… 【SDI IN1】 SDI IN 1 の表示を設定します。
      - DISABLE …… 【DISABLE】 表示しません。
      - ENABLE …… 【ENABLE】 表示します。
    - SDI IN4 …… 【SDI IN4】 SDI IN 4 の表示を設定します。
      - SDI IN1 に同じ
    - CHARACTER …… 【CHARACTER】 表示する名称を設定します。※3
      - OFF …… 【OFF】 表示しません。
      - AUTO …… 【AUTO】 自動で設定した名称を表示します。
      - TITLE …… 【TITLE】 タイトル設定をした名称を表示します。
    - CHARACTER POSI …… 【CHR POSI】 表示する名称の位置を設定します。※3
      - TOP LEFT …… 【TOP LEFT】 左上に表示します。
      - TOP CENTER …… 【TOP CENTER】 中央上に表示します。
      - TOP RIGHT …… 【TOP LEFT】 右上に表示します。
      - BOTTOM LEFT …… 【BTM LEFT】 左下に表示します。
      - BOTTOM CENTER 【BTM CENTER】 中央下に表示します。
      - BOTTOM RIGHT …… 【BTM RIGHT】 右下に表示します。
    - STATUS DISP …… 【STATUS DSP】 STATUS の表示を設定します。
      - TIME CODE SOURCE 【TC SOURCE】 表示をするタイムコードを選択します。
        - LTC …… 【LTC】 ANC LTC を表示します。
        - VITC …… 【VITC】 ANC VITC を表示します。
      - NETQ MODE …… 【NETQ MODE】 NETQ の表示内容を選択します。
        - STATION …… 【STATION】 CI、発局コード、発局時間を表示します。
        - VIDEO AUDIO …… 【VID AUD】 映像フォーマット、TC、カレント映像モード、カレント音声モード、カレント DM 指定を表示します。
        - TRIGGER …… 【TRIGGER】 トリガ信号、同カウンタ、同カウントダウンを表示します。
        - STATUS BITS 【STS BITS】 ステータス信号を表示します。
    - AUDIO METER …… 【AUDIO METER】 音声レベルメーターを表示します。
      - DISABLE …… 【DISABLE】 表示しません。
      - ENABLE …… 【ENABLE】 表示します。

MENU

- CONFIG(続き) …… 【CONFIG】
  - SEQUENTIAL(続き) …… 【SEQUENTIAL】
    - TALLY PATTERN …… 【TALLY PAT】 タリー表示を設定します。
      - DISABLE …… 【DISABLE】 表示しません。
      - TALLY 1 …… 【TALLY1】 タリーパターン 1 を表示します。
      - TALLY 2 …… 【TALLY2】 タリーパターン 2 を表示します。
    - ERROR INFO …… 【ERR INFO】 SDI 信号のエラー情報を設定します。
      - DISABLE …… 【DISABLE】 表示しません。
      - ENABLE …… 【ENABLE】 表示します。
    - ERROR FRAME …… 【ERR FRAME】 エラー発生時のフレーム表示を設定します。
      - DISABLE …… 【DISABLE】 表示しません。
      - NARROW FRAME …… 【NARROW FRM】 細いフレームを表示します。
      - WIDE FRAME …… 【WIDE FRM】 太いフレームを表示します。

MENU

- CONFIG(続き) …… 【CONFIG】
  - SDI IN1 TITLE …… 【IN1 TITLE】 SDI IN 1 のタイトル名を設定します。※3 ※4
  - SDI IN4 TITLE …… 【IN4 TITLE】 SDI IN 4 のタイトル名を設定します。※3 ※4
  - TIME DISP …… 【TIME DISP】 時計表示を設定します。
    - DISP SELECT …… 【DISP SEL】 背景画像を選択します。
      - BLACK …… 【BLACK】 黒画面にします。
      - SDI1 …… 【SDI1】 SDI IN 1 にします。
      - SDI4 …… 【SDI4】 SDI IN 4 にします。
    - SOURCE SELECT …… 【SOURCE SEL】 表示をする時計もしくはタイムコードを選択します。
      - RTC …… 【RTC】 内部時計を表示します。
      - SDI1 LTC …… 【SDI1 LTC】 SDI IN 1 の ANC LTC を表示します。
      - SDI1 VITC …… 【SDI1 VITC】 SDI IN 1 の ANC VITC を表示します。
      - SDI4 LTC …… 【SDI4 LTC】 SDI IN 4 の ANC LTC を表示します。
      - SDI4 VITC …… 【SDI4 VITC】 SDI IN 4 の ANC VITC を表示します。
    - OSD POSITION …… 【OSD POSI】 表示位置を設定します。(6 分割は MAIN SCREEN でのみ設定可能)
      - CENTER …… 【CENTER】 中央に表示します。
      - TOP …… 【TOP】 上側に表示します。
      - BOTTOM …… 【BOTTOM】 下側に表示します。
    - OSD SIZE …… 【OSD SIZE】 表示の大きさを設定します。(全画面表示、6 分割の MAIN SCREEN でのみ設定可能)
      - SMALL …… 【SMALL】 文字サイズ(小)にします。
      - MEDIUM …… 【MEDIUM】 文字サイズ(中)にします。
      - LARGE …… 【LARGE】 文字サイズ(大)にします。
      - EXTRA LARGE …… 【EXT LARGE】 文字サイズ(特大)にします。
    - OSD FORMAT …… 【OSD FORMAT】 表示形式を設定します。
      - NORMAL …… 【NORMAL】 ソース名称+時刻で表示します。
      - SHORT …… 【SHORT】 時刻のみで表示します。
      - TIME …… 【TIME】 時刻からミリ秒もしくはフレームを省略して表示します。
  - OUT2 ERR CHG …… 【OUT2 ER CH】 エラー発生時の SDI OUT 2 の切り替え動作を設定します。
    - OFF …… 【OFF】 切り替えをしません。(SDI OUT 2 の設定に従います)
    - ON …… 【ON】 エラーを検出した SDI 入力信号に切り替えます。

MENU

- CONFIG(続き) …… 【CONFIG】
  - AUDIO METER CHANNEL …… 【AUD MET CH】 音声レベルメーターで表示する CH を設定します。
    - SDI IN1 …… 【SDI IN1】 SDI IN 1 を設定します。
      - CH1-8 …… 【CH1-8】 CH1-8 を表示します。
      - CH9-16 …… 【CH9-16】 CH9-16 を表示します。
    - SDI IN4 …… 【SDI IN4】 SDI IN 4 を設定します。
      - SDI IN 1 に同じ
  - TITLE COLOR …… 【TITLE COL】 TITLE のカラーを設定します。
    - FG COLOR …… 【FG COLOR】 文字の色を設定します。
      - HUE …… 【HUE】 色相を設定します。
        - 0～359 …… 【0】
      - LUMI …… 【LUMI】 輝度を設定します。
        - 0～100～110 【100】
      - SAT …… 【SAT】 彩度を設定します。
        - 0～100 …… 【0】
    - BG COLOR …… 【FG COLOR】 プレートの色を設定します。
      - HUE …… 【HUE】 色相を設定します。
        - 0～359 …… 【0】
      - LUMI …… 【LUMI】 輝度を設定します。
        - 0～110 …… 【0】
      - SAT …… 【SAT】 彩度を設定します。
        - 0～100 …… 【0】
  - ERROR FRAME COLOR …… 【ER FRM COL】 エラーフレームのカラーを設定します。
    - HUE …… 【HUE】 色相を設定します。
      - 0～10～359 …… 【10】
    - LUMI …… 【LUMI】 輝度を設定します。
      - 0～20～110 …… 【20】
    - SAT …… 【SAT】 彩度を設定します。
      - 0～100 …… 【100】

MENU

- INFORMATION 【INFO】 各種ステータスを表示します。
  - VERSION 【VERSION】 モジュールのバージョン情報を表示します。
    - SOFT 【SOFT】 ソフトウェアのバージョン情報を表示します。
    - HARD MAIN 【HARD MAIN】 ハードウェアのバージョン情報を表示します。
    - HARD GEN 【HARD GEN】 ゲンロックのハードウェアのバージョン情報を表示します。
  - STATUS 【STATUS】 各 SDI 入力の状態を表示します。
    - SDI IN1 【SDI IN1】 SDI IN 1 の状態を表示します。
    - SDI IN4 【SDI IN4】 SDI IN 4 の状態を表示します。
  - IN1 PAYLOAD IN 【s1 PAYLOAD】 SDI IN 1 のペイロード ID を表示します。
  - IN4 PAYLOAD IN 【s4 PAYLOAD】 SDI IN 4 のペイロード ID を表示します。
  - PAYLOAD OUT 【PAYLOAD OT】 SDI OUT(1,2 共通)のペイロードを表示します。
- MAINTENANCE 【MTN】 メンテナンスの設定をします。
  - INIT CONDITION 【INI COND】 全ての設定値を工場出荷時に戻します。
    - YES=SET ボタン 【INITIAL?】 初期化を実行します。
    - NO=MEN ボタン 初期化を実行せず、キャンセルします。
  - s1 ERROR DUMP 【s1ERR DUMP】 SDI IN 1 の全エラーを表示します。
    - SDI SIGNAL 【SDI SIGNAL】 SDI 信号無しエラーを表示します。
    - TRS 【TRS】 TRS エラーを表示します。
    - LINE NUMBER 【LINE NUM】 LINE NUMBER エラーを表示します。
    - CRC Y 【CRC Y】 Y 信号の CRC エラーを表示します。
    - CRC C 【CRC C】 C 信号の CRC エラーを表示します。
    - LINE LENGTH 【LEN LEN】 LINE LENGTH エラーを表示します。
    - FIELD LENGTH 【FILED LEN】 FIELD LENGTH エラーを表示します。
    - RESERVED DATA 【RSV DATA】 RESERVED DATA エラーを表示します。
    - ANC PARITY 【ANC PARITY】 ANC PARITY エラーエラーを表示します。
    - ANC CHECKSUM 【ANC CSUM】 ANC CHECKSUM エラーを表示します。
    - BCH 【BCH】 BCH エラーを表示します。
    - AUDIO PACKET 【AUDIO PKT】 AUDIO PACKET エラーを表示します。
    - NO AUDIO 【NO AUDIO】 NO AUDIO PACKET エラーを表示します。
    - MUTE 【MUTE】 MUTE エラーを表示します。
    - BLACK 【BLACK】 BLACK エラーを表示します。
    - FREEZE 【FREEZE】 FREEZE エラーを表示します。
    - BLUE 【BLUE】 BLUE エラーを表示します。
    - COMPARE 【COMPARE】 COMPARE エラーを表示します。
    - ASYNC 【ASYNC】 ASYNC エラーを表示します。(将来対応)
  - s4 ERROR DUMP 【s4ERR DUMP】 SDI IN 4 の全エラーを表示します。
    - s1 ERROR DUMP に同じ

MENU

- MAINTENANCE(続き) …… 【MTN】
  - FAN ROTATE …… 【FAN ROTATE】　チップクーリング FAN の回転数を表示します。
  - DEVICE TEMP …… 【DEV TEMP】　メインデバイス温度を表示します。

メニューツリー内の【 】は略称を示します。

メニューツリー内の　は工場出荷時設定を示します。変更した全ての設定は電源OFF時も保持されます。

※1　GPIO-01 GPIOインターフェースケーブル(オプション)が必要です。

※2　入力信号と出力信号の映像フォーマットが異なる場合、入力信号を簡易変換して出力します。

※3 この項目を操作すると、時計の表示が一時的に停止する場合があります。

※4　本体操作では英数字と”-“、スペースを設定できます。

3. 各機能の説明

各設定の操作方法は「4.操作方法」をご参照ください。

（1） ERROR LOG

MENU/ESC ボタンを押すとボタンのランプが点灯し、SDI OUT 1と2にオンスクリーンメニューで「図4-3-1 メインメニュー階層」が表示されます。

SET ボタンでERROR LOGを選択し、更に SET ボタン押すと、「図4-3-2 ERROR LOG階層」が表示されます。本書ではこの様な操作手順を”MENU→ERROR LOG”と表現し、ERROR LOG階層と呼びます。

ERROR LOG階層は、エラーログについてのオンスクリーン表示やフィルター指定、テキストファイル保存を行います。

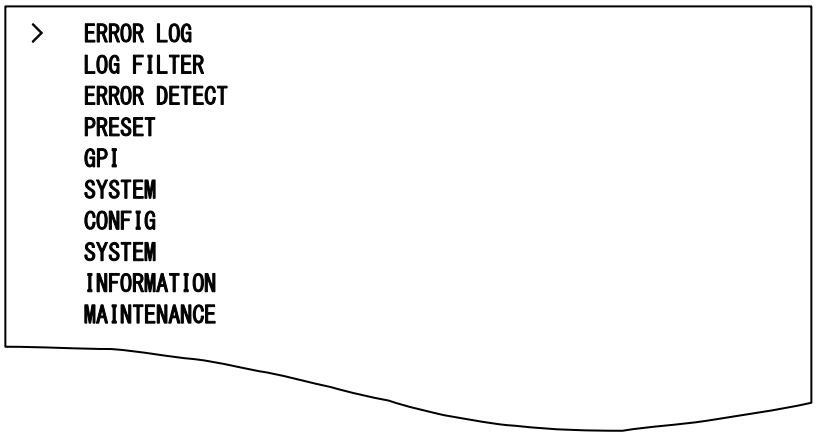


図4-3-1 メインメニュー階層

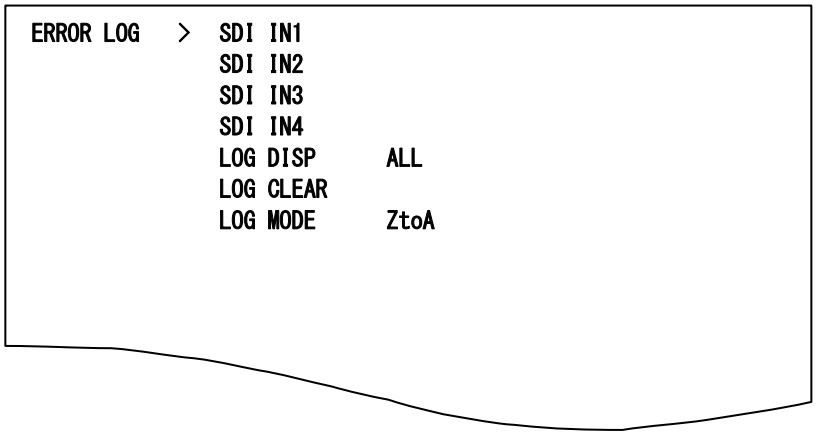


図4-3-2 ERROR LOG階層

1）SDI IN 1～4

MENU→ERROR LOG→SDI IN 1～4の選択で、SDI IN 1～4のERROR LOGをオンスクリーンで表示します。

表示を抜ける時は MENU/ESC ボタンを押してください。

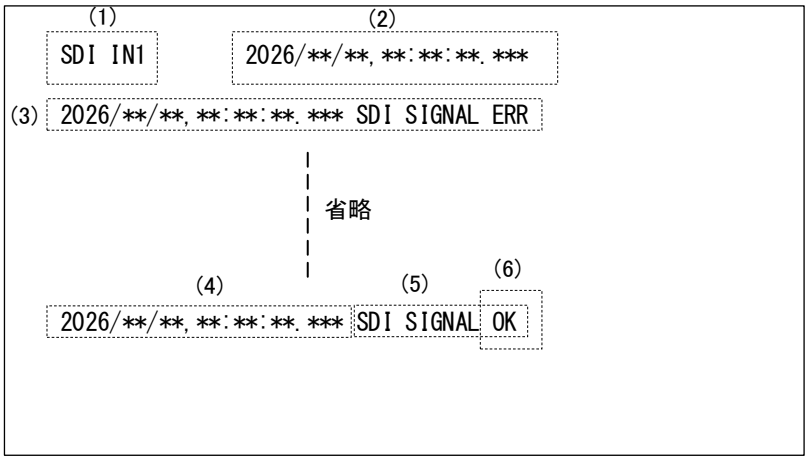


図4-3-3 ERROR LOG(オンスクリーン表示)

(1) ERROR LOGを表示するSDI INを示します。

(2) 内部時計の現在の時刻を示します。

****/**/**,**:**:**.*** = 年 / 月 / 日, 時 : 分 : 秒(1/1000秒まで表示)

(3) 最新のログが最上段に表示されます。 ▲ ▼ ボタンを操作するとイベントがスクロールします。

(4) エラーを検出した日時を示します。

(5) エラー内容を示します。エラーの表示内容は表4-3-1 エラーログ一覧をご参照ください。

(6) エラーが解除されるとOKの表示がされます。

・ご注意

①内部時計は工場出荷時には実際の現在時刻になっておりません。

ERROR LOGの機能は内部時計に実際の現在時刻を設定しなくても動作をします。

時刻を設定されたい場合は、MENU→SYSTEM→SYSTEM TIMEにて設定をお願いいたします。

②ログは電源をOFFにすると消去されます。

③ログの表示能力は1秒間に約12行程度です。それを超える場合は表示されない時があります。

表4-3-1 エラーログ一覧

名称	説明	ERROR DETECT 1～3対応
SDI SIGNAL	SDI信号なし	
TRS	映像タイミング基準コード(TRS)エラー	
LINE NUMBER	ラインナンバーエラー	
CRC Y	Yデータ系列C RCエラー	
CRC C	Cb,Crデータ系列CRCエラー	
LINE LENGTH	1ラインの長さエラー	
FIELD LENGTH	1フィールドの長さエラー	
RESERVED DATA	リザーブドデータエラー	
ANC PARITY	補助データパケットのパリティーエラー	
ANC CHECKSUM	補助データパケットのチェックサムエラー	
BCH	エンベデッド･オーディオのエラー	
AUDIO PACKET	エンベデッド･オーディオ･パケットのデータブロック番号インクリメントエラー	
NO AUDIO PACKET	エンベデッド･オーディオなし	
MUTE1～3	エンベデッド･オーディオ無音検出	○
BLACK1～3	黒味検出	○
FREEZE1～3	フリーズ検出	○
BLUE1～3	青色検出	○
COMPARE1～3	映像比較	○
ASYNC(将来対応)	ASYNC検出	
LOG CLEAR	ログクリアー操作が行われた	
POWER ON	電源再投入が行われた	
HOLD RESET	ホールドされていたエラーアラームがリセットされた	

2) LOG DISP

MENU→ERROR LOG→LOG DISPの選択で、LOG FILTERによるERROR LOGの表示を設定します。

① ALL　　OFFとHIGHに設定された項目を表示します。
② HIGH　　HIGHに設定された項目のみを表示します。

3) LOG CLEAR

MENU→ERROR LOG→LOG CLEARの選択で、ERROR LOGをクリアーします。
SET ボタンを押下するとERROR LOGのクリアーを実行します。
クリアーを実行しない時は MENU/ESC ボタンを押下してください。

① SDI1～SDI4　　SDI IN 1～SDI IN 4のERROR LOGを入力信号別にクリアーします。
② ALL　　SDI IN 1、2、3、4のERROR LOGをクリアーします

4) LOG MODE

MENU→ERROR LOG→LOG MODEの選択で、ERROR MODEを設定します。

① ZtoA　　ログを記録の順に下から上へ表示します。テキストファイルの並びもこれに従います。
② AtoZ　　ログを記録の順に上から下へ表示します。テキストファイルの並びもこれに従います。

（2） LOG FILTER

MENU→LOG FILTERの選択で、ERROR LOGの表示設定を行います。

① ALL SET　　全てのエラー検出項目を一斉に設定します。

- OFF・ LOG DISPの設定がALLの時のみにERROR LOGを表示します。
- ON・・ ログを表示しません。(フィルターをする)
- HIGH・LOG DISPの設定がALLとHIGHの時にERROR LOGを表示します。

OFF、ON、HIGHの選択後に SET ボタンを押下してください。
以降の項目はエラー別の設定で、同様の操作になります。

② SDI SIGNAL	SDI信号無しエラー	⑭ NO ADUDIO	NO AUDIO PACKETエラー
③ TRS	TRSエラー	⑮ MUTE	MUTEエラー
④ LINE NUMBER	LINE NUMBERエラー	⑯ BLACK	BLACKエラー
⑤ CRC Y	Y信号のCRCエラー	⑰ FREEZE	FREEZEエラー
⑥ CRC C	C信号のCRCエラー	⑱ BLUE	BLUEエラー
⑦ LINE LENGTH	LINE LENGTHエラー	⑲ COMPARE	COMPAREエラー
⑧ FIELD LENGTH	FIELD LENGTHエラー	⑳ ASYNC	ASYNCエラー(将来対応)
⑨ RESERVED DATA	RESERVED DATAエラー		
⑩ ANC PARITY	ANCILLARY PARITYエラー		
⑪ ANC CHECKSUM	ANCILLARY CHECKSUMエラー		
⑫ BCH	BCHエラー		
⑬ AUDIO PACKET	AUDIO DATA PACKET DBNインクリメントエラー		

（3） ERROR DETECT

MENU→ERROR DETECTの選択で、エラー検出の設定とその検出状態を表示します。

1）START STOP

MENU→ERROR DETECT→START STOPの選択で、エラー検出動作の開始/停止を設定します。

① START　　エラー検出動作を開始します。
② STOP　　エラー検出動作を停止します。

2）s1～4 ERROR DETECT

MENU→ERROR DETECT→s1～4 ERROR DETECTの選択で、SDI IN 1～4の各エラー検出の状態を表示します。
設定項目の先頭の「s1」はSDI IN 1を示します。
オンスクリーン表示では複数のERROR項目が表示できます。(図4-3-14参照)
ELディスプレイでは選択した一つのERROR項目が表示されます。(図4-3-15参照)

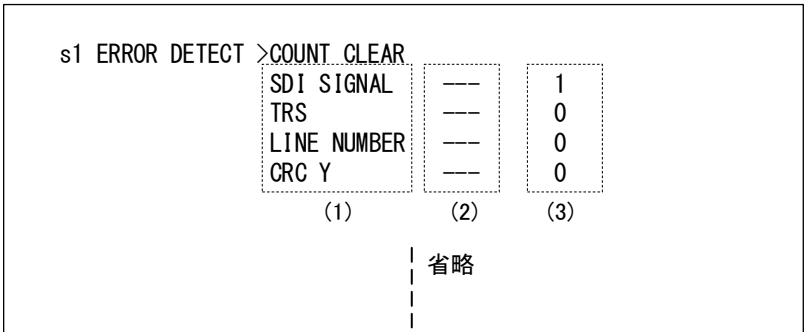


図4-3-14 s1 ERROR DETECT

(1) ERRORの項目名を示します。選択ツマミを回すと項目がスクロールします。
(2) ERRORの検出状態を示します。"---"は未検出、"ERR"は検出がされている状態を示します。
(3) ERRORのカウント数を示します。

① COUNT CLEAR　　エラーカウントをクリアーします。

- YES(SET)・・・・　操作を実行します。
- NO(MENU)・・・　操作を実行しません。

② SDI SIGNAL　　SDI信号無しエラーの状態を表示します。

MENU/ESC ボタンの押下でこの表示を抜けます。
以降の項目はエラー別の表示で、同様の操作になります

③ TRS	TRSエラー	⑭ NO AUDIO	NO AUDIO PACKETエラー
④ LINE NUMBER	LINE NUMBERエラー	⑮ MUTE	MUTEエラー
⑤ CRC Y	Y信号のCRCエラー	⑯ BLACK	BLACKエラー
⑥ CRC C	C信号のCRCエラー	⑰ FREEZE	FREEZEエラー
⑦ LINE LENGTH	LINE LENGTHエラー	⑱ BLUE	BLUEエラー
⑧ FIELD LENGTH	FIELD LENGTHエラー	⑲ COMPARE	COMPAREエラー
⑨ RESERVED DATA	RESERVED DATAエラー	⑳ ASYNC	ASYNCエラー(将来対応)
⑩ ANC PARITY	ANCILLARY PARITYエラー		
⑪ ANC CHECKSUM	ANCILLARY CHECKSUMエラー		
⑫ BCH	BCHのエラー		
⑬ AUDIO PACKET	AUDIO DATA PACKET DBNインクリメントエラー		

3) s1～4 ERROR SELECT

MENU→ERROR DETECT→s1～4 ERROR SELECTの選択で、SDI IN 1～4で使用するエラー検知のパターンを選択します。

① 123	ERROR DETECT 1、2、3を選択します。
② 1	ERROR DETECT 1を選択します。
③ 2	ERROR DETECT 2を選択します。
④ 3	ERROR DETECT 3を選択します。
⑤ 12	ERROR DETECT 1、2を選択します。
⑥ 23	ERROR DETECT 2、3を選択します。
⑦ 13	ERROR DETECT 1、3を選択します。

4) NO AUDIO PKT PHASE

MENU→ERROR DETECT→NO AUDIO PKT PHASEの選択で、NO AUDIO PACKETエラーについて音声クロック位相情報エラーの検出の有無を設定します。

① OFF	当検出を含めません。
② ON	当検出を含めます。

5) UNFORMAT NO ERROR

MENU→ERROR DETECT→UNFORMAT NO ERRORの選択で、SDI SIGNALエラーについて、入力信号の映像フォーマットの不一致検出を含めるかの設定をします。

① OFF	当検出を含めません。
② ON	当検出を含めます。

（4） PRESET

MENU→PRESETの選択で、各エラー検出の有無をプリセットとして設定します。

1）s1～4 ERROR PRESET

MENU→PRESET→s1～4 ERROR PRESETの選択で、SDI IN 1～4のエラー検出のパラメータを設定します。

① s1 ERROR DETECT1　エラー検知1で使用するプリセットパターンを設定します。

- 1～9・・・ プリセットパターン1～9(PRESET1～9)を選択します。
  プリセットパターンは9パターンあり、SDI IN 1～4で共通です。
- OFF・・・ エラー検出を行いません。

② s1 ERROR DETECT2　エラー検知2で使用するプリセットパターンを設定します。
操作方法はs1 ERROR DETEC1と同じです。

③ s1 ERROR DETECT3　エラー検知3で使用するプリセットパターンを設定します。
操作方法はs1 ERROR DETEC1と同じです。

④ s1 MUTE　MUTE音声検出のパラメータ設定をします。

- s1 TIME1～3・・ ERROR DETECT1～3の検出時間を設定します。
  設定範囲は1～660秒です。
- s1-4 LEVEL・・・ MUTEを検出する音声レベルを設定します。
  SDI IN 1～4共通です。
  設定範囲は-80～-60dBFSです。
- s1 CHANNEL1～8・・ チャンネル1～8のそれぞれの検出の ON(有効)/
  OFF(無効)を 設定します。
- s1 CH MODE・・ s1 CHANNEL1～8でONに設定したチャンネルの検出条件を
  AND/ORで設定します。

  AND : ONに設定したチャンネルが全てMUTEの時に 検出になります。
  OR : ONに設定したチャンネルのどれか1つでもMUTEになると検出になります。

⑤ s1 BLACK　BLACK映像検出のパラメータ設定をします。

- s1 TIME1～3・・ ERROR DETECT1～3の検出時間を設定します。
  設定範囲は0～660秒です。
- s1-4 LEVEL・・・ BLACKを検出する輝度レベルを設定します。
  SDI IN 1～4共通です。
  設定範囲は0～99IREです。

⑥ s1 FREEZE　　FREEZE映像検出のパラメータ設定をします。

- s1 TIME1～3・・ ERROR DETECT1～3の検出時間を設定します。
  設定範囲は0～19800フレームです。

⑦ s1 BLUE　　BLUE映像検出のパラメータ設定をします。

- s1 TIME1～3・・ ERROR DETECT1～3の検出時間を設定します。
  設定範囲は0～660秒です。

⑧ s1 COMPARE　　COMPARE映像検出のパラメータ設定をします。

- s1 TIME1～3・・ ERROR DETECT1～3の検出時間を設定します。
  設定範囲は0～19800フレームです。
- s1 DELAY・・・ 比較を行う映像の遅延時間を設定します。
  設定範囲は0～240フレームです。

※COMPARE映像検出の共通設定はMENU→PRESET→COMPARE PARAMにあります。
※設定値の詳細は「5.エラー検出について / 18.COMPARE」をご参照ください。

⑨ s1 MASK　　BLACK、FREEZEの検出範囲を決めるMASK設定をします。

- s1 MASK・・・・ マスクのON(有効)/OFF(無効)を設定します。
  マスクの範囲を表示するマスクカーソルは、SDI OUT 2を4分割画面以外に設定をした状態で、SDI OUT 2のみに出力されます。(図4-3-22参照)
  この時、メニューの階層はMENU→PRESET→s1 ERROR PRESETに入っている必要があります。
- s1 PRESET・・・ マスクを使用するプリセットパターン1～8を選択します。
- s1 LEFT・・・・・ マスクの左位置を設定します。
- s1 RIGHT・・・・ マスクの右位置を設定します。
- s1 TOP・・・・・・ マスクの上位置を設定します。
- s1 BOTTOM・・ マスクの下位置を設定します。
- s1 H MOVE・・・ マスク全体を横方向に移動します。
- s1 V MOVE・・・ マスク全体を縦方向に移動します。
- s1 REVERSE・・ マスクを反転します。
- s1-4 LEVEL・・ マスクカーソルの表示レベルを設定します。
  1に設定するとカーソルに映像が透過し、4は透過しません。
  SDI IN 1～4共通です。

・マスクカーソル

マスクカーソルは実際のマスクの範囲を示します。

マスクは下図のグレーの領域で示されるように、外枠と内部の矩形部分の二つで構成されます。

グレーの領域はBLACK、FREEZEの検出が行われません。

マスクの範囲の調整ができるのは内部の四角部分です。

外枠は全体の97.5%より外の領域で、固定の検出されない領域です。

REVERSEをONにするとマスクに対して検出エリアが反転します。

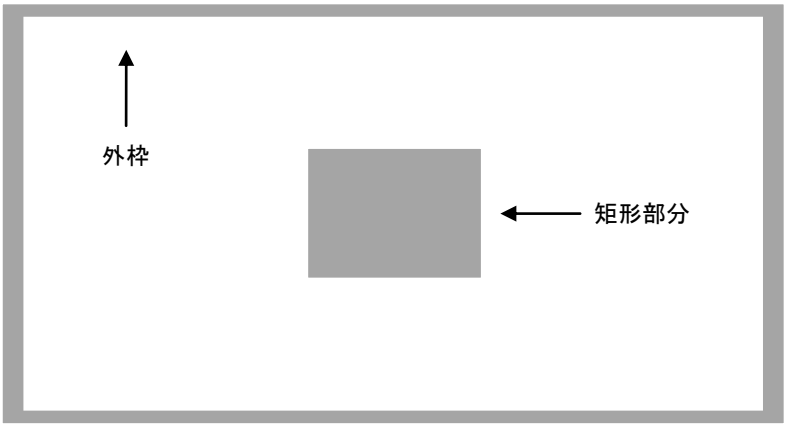


図4-3-22 マスクカーソル

2） COMPARE PARAM

MENU→PRESET→COMPARE PARAMの選択で、COMPARE映像検出の共通パラメータを設定します。

① MODE　　検出モードを設定します。

- ALL・・・・・・・・・・・　SDI IN 1～SDI IN 4の全ての入力で検出を行います。
- PAIR・・・・・・・・・・・　SDI IN 1と2、SDI IN 3と4の各ペアで検出を行います。

② s2S4 FRAME　　映像比較で参照するフレームの数を設定します。
MODE設定がPAIRの時に有効な設定です。

③ s1-4 RANGE　　エラー判定を行う映像領域を設定します。
映像領域を80～100%の範囲で設定します。

※COMPARE映像検出のSDI入力別の設定はMENU→PRESET→ s1 ERROR PRESET→ s1 COMPAREにあります。

※設定値の詳細は「5.エラー検出について / 18.COMPARE」をご参照ください。

3） PRESET1～9

MENU→PRESET→PRESET1～9の選択で、各プリセットパターンのエラー検出の組み合わせを設定します。

① ALL　　全エラー検出項目を一斉に設定します。

- OFF・・・・・ エラー検出がされてもアラーム出力をしません。
- OR・・・・・・ エラー検出がされるとアラーム出力をします。
  他のエラー検出の影響は受けません。
- AND・・・・・ PRESET1階層の他のエラー検出項目について全てエラー検出がされた場合にアラーム出力されます。

OFF、OR、ANDの選択後に SET ボタンを押下してください
以降の項目はエラー別の設定で、同様の操作になります。

② SDI SIGNAL	SDI信号無しエラー	⑭ NO AUDIO	NO AUDIO PACKETエラー
③ TRS	TRSエラー	⑮ MUTE	MUTEエラー
④ LINE NUMBER	LINE NUMBERエラー	⑯ BLACK	BLACKエラー
⑤ CRC Y	Y信号のCRCエラー	⑰ FREEZE	FREEZEエラー
⑥ CRC C	C信号のCRCエラー	⑱ BLUE	BLUEエラー
⑦ LINE LENGTH	LINE LENGTHエラー	⑲ COMPARE	COMPAREエラー
⑧ FIELD LENGTH	FIELD LENGTHエラー	⑳ ASYNC	ASYNCエラー(将来対応)
⑨ RESERVED DATA	RESERVED DATAエラー		
⑩ ANC PARITY	ANCILLARY PARITYエラー		
⑪ ANC CHECKSUM	ANCILLARY CHECKSUMエラー		
⑫ BCH	BCHのエラー		
⑬ AUDIO PACKET	AUDIO DATA PACKET DBNインクリメントエラー		

（5） GPI

MENU→GPIの選択で、GPI入出力を設定します。

1） HOLD MODE

MENU→GPI→HOLD MODEの選択で、アラーム出力の保持機能を設定します。

① HOLD MODE

アラーム出力の保持機能を設定します。

- OFF・・・・・・・・・・・・ 設定を無効にします。
- ON・・・・・・・・・・・・・ 設定を有効にします。
  一度発生したエラーが解消しても、その表示とGPI出力は保持されます。
  保持機能のリセットはメニュー操作のHOLD RESETまたはGPI、SNMPで
  リセットすることができます

② HOLD MODE TIME

アラーム出力の自動リセット時間を分単位で設定します。
0を設定すると LOCK / ALM CLR スイッチの操作でホールド機能がリセットされます。
1～99を設定した場合、その時間になるとホールド機能がリセットされます。

③ HOLD RESET

保持されたエラー出力をリセットします。

- YES・・・・・・・・・・・・ リセット操作を実行します。
- NO・・・・・・・・・・・・・ リセット操作を実行しません。

2） FREE ASSIGN

MENU→GPI→FREE ASSIGNの選択で、GPIの割り当てをカスタマイズします。

① IN1～IN8

GPI端子のIN1～IN8をカスタマイズします。

- OFF・・・・・・・・・・・・・・・・・ 未使用にします。
- SDI IN 1 OA TALLY・・・・・ SDI IN 1 OA TALLY入力にします。
- SDI IN 1 NEXT TALLY・・・ SDI IN 1 NEXT TALLY入力にします。
- SDI IN 2 OA TALLY・・・・・ SDI IN 2 OA TALLY入力にします。
- SDI IN 2 NEXT TALLY・・・ SDI IN 2 NEXT TALLY入力にします。
- SDI IN 3 OA TALLY・・・・・ SDI IN 3 OA TALLY入力にします。
- SDI IN 3 NEXT TALLY・・・ SDI IN 3 NEXT TALLY入力にします。
- SDI IN 4 OA TALLY・・・・・ SDI IN 4 OA TALLY入力にします。
- SDI IN 4 NEXT TALLY・・・ SDI IN 4 NEXT TALLY入力にします。
- ERROR DET START・・・・ ERROR DETECT START入力にします。
- ERROR DET STOP・・・・・ ERROR DETECT STOP入力にします。

- OUT2 MULTI・・・・・・・・・・ SDI OUT 2をMULTI SCREENへ切り替えます。
- OUT2 SDI IN1・・・・・・・・・ SDI OUT 2をSDI IN 1へ切り替えます。
- OUT2 SDI IN2・・・・・・・・・ SDI OUT 2をSDI IN 2へ切り替えます。
- OUT2 SDI IN3・・・・・・・・・ SDI OUT 2をSDI IN 3へ切り替えます。
- OUT2 SDI IN4・・・・・・・・・ SDI OUT 2をSDI IN 4へ切り替えます。
- OUT2 SEQUENTIAL・・・・・ SDI OUT 2をSEQUENTIALへ切り替えます。
- OUT2 TIME・・・・・・・・・・・ SDI OUT 2をTIMEへ切り替えます。
- HOLD RESET・・・・・・・・・ パルス入力でエラーホールドを解除します。

② OUT1～OUT8

GPI端子のOUT1をカスタマイズします。

- OFF・・・・・・・・・・・・・・・・・ 未使用にします。
- SDI IN 1 OA TALLY・・・・・ SDI IN 1 OA TALLY出力にします。
- SDI IN 1 NEXT TALLY・・・ SDI IN 1 NEXT TALLY出力にします。
- SDI IN 2 OA TALLY・・・・・ SDI IN 2 OA TALLY出力にします。
- SDI IN 2 NEXT TALLY・・・ SDI IN 2 NEXT TALLY出力にします。
- SDI IN 3 OA TALLY・・・・・ SDI IN 3 OA TALLY出力にします。
- SDI IN 3 NEXT TALLY・・・ SDI IN 3 NEXT TALLY出力にします。
- SDI IN 4 OA TALLY・・・・・ SDI IN 4 OA TALLY出力にします。
- SDI IN 4 NEXT TALLY・・・ SDI IN 4 NEXT TALLY出力にします。
- ERROR DET START・・・・ ERROR DETECT START出力にします。
- ERROR DET STOP・・・・・ ERROR DETECT STOP出力にします。
- OUT2 MULTI・・・・・・・・・・ SDI OUT 2がMULTI SCREENの時に出力します。
- OUT2 SDI IN1・・・・・・・・・ SDI OUT 2がSDI IN 1の時に出力します。
- OUT2 SDI IN2・・・・・・・・・ SDI OUT 2がSDI IN 2の時に出力します。
- OUT2 SDI IN3・・・・・・・・・ SDI OUT 2がSDI IN 3の時に出力します。
- OUT2 SDI IN4・・・・・・・・・ SDI OUT 2がSDI IN 4の時に出力します。
- OUT2 SEQUENTIAL・・・・ SDI OUT 2がSEQUENTIALの時に出力します。
- OUT2 TIME・・・・・・・・・・・ SDI OUT 2がTIMEの時に出力します。
- SDI IN1 ERROR・・・・・・・・ s1 ERROR SELECTで選択したハパターンが検出された時に出力します。(以下SDI IN 1の設定)
- SDI IN1 ERROR123・・・・・ ERROR DETECT1、2、3が検出した時に出力します。
- SDI IN1 ERROR1・・・・・・・ ERROR DETECT1が検出した時に出力します。
- SDI IN1 ERROR2・・・・・・・ ERROR DETECT2が検出した時に出力します。
- SDI IN1 ERROR3・・・・・・・ ERROR DETECT3が検出した時に出力します。
- SDI IN1 ERRO12・・・・・・・ ERROR DETECT1、2が検出した時に出力します。
- SDI IN1 ERRO23・・・・・・・ ERROR DETECT2、3が検出した時に出力します。
- SDI IN1 ERRO13・・・・・・・ ERROR DETECT1、3が検出した時に出力します。
- SDI IN2 ERROR・・・・・・・・ 省略、SDI IN 2についてもSDI IN 1と同様の設定ができます。
- SDI IN3 ERROR・・・・・・・・ 省略、SDI IN 3についてもSDI IN 1と同様の設定ができます。
- SDI IN4 ERROR・・・・・・・・ 省略、SDI IN 4についてもSDI IN 1と同様の設定ができます。

3) OA TALLY

MENU→GPI→OA TALLYの選択で、OAタリーの表示を設定します。
タリーの表示は、MENU→CONFIG→4 SCREENS→TALLY PATTERN、
MENU→CONFIG→SEQUENTIAL→TALLY PATTERNを設定してください。

① SDI IN1～4　　SDI IN 1～4のOAタリーを点灯させます。

4) NEXT TALLY

MENU→GPI→NEXT TALLYの選択で、NEXTタリーの表示を設定します。

① SDI IN1～4　　SDI IN 1～4のNEXTタリーを点灯させます。

（6） SYSTEM

MENU→SYSTEMの選択で、システムに関する各種設定をします

1）FORMAT

MENU→SYSTEM→FORMATの選択で、出力信号の映像フォーマットの切り替えをします。
入力信号と出力信号の映像フォーマットが異なる場合、入力信号を簡易変換して出力します。

① 1080i60　　1080i60に設定します。(将来対応)
② 1080i59　　1080i59.94に設定します。
③ 1080i50　　1080i50に設定します。(将来対応)
④ 1080p60A　　1080p60 Level-A(1080p59.94Aと略します)に設定します。(将来対応)
⑤ 1080p59A　　1080p59.94 Level-A(1080p59.94Aと略します)に設定します。
⑥ 1080p50A　　1080p50 Level-A(1080p59.94Aと略します)に設定します。(将来対応)
⑦ 1080p30　　1080p30に設定します。(将来対応)
⑧ 1080p29　　1080p29.97に設定します。(将来対応)
⑨ 1080p25　　1080p25に設定します。(将来対応)
⑩ 1080p24　　1080p24に設定します。(将来対応)
⑪ 1080p23　　1080p23.98に設定します。(将来対応)
⑫ 1080sF30　　1080sF30に設定します。(将来対応)
⑬ 1080sF29　　1080sF29.97に設定します。(将来対応)
⑭ 1080sF25　　1080sF25に設定します。(将来対応)
⑮ 1080sF24　　1080sF24に設定します。(将来対応)
⑯ 1080sF23　　1080sF23.98に設定します。(将来対応)

2）REFERENCE SELECT(将来対応)

MENU→SYSTEM→REFERENCE SELECTの選択で、リファレンス信号の選択をします。

① REF IN　　背面REF INに入力されているリファレンス信号に同期します。
② LINE DIRECT　　SDI IN 1の映像信号に同期します。

3）GENLOCK PHASE(将来対応)

MENU→SYSTEM→GENLOCK PHASEの選択で、EXT SUB設定時のSDI出力位相の設定をします。
LINE DIRECT設定時のこの設定は無視されます。
SDI出力信号の位相については、MENU→REFERENCE SELECTの説明も合わせてご参照ください。

① H　　水平位相を設定します。
② V　　垂直位相を設定ます。

4) SYSTEM TIME

MENU→SYSTEM→SYSTEM TIMEの選択で、内部時計の確認と設定をします。
内部時計の時刻は、ログ機能、時計表示でのみ使用されます。

① yy　　年を設定します。
② mm　　月を設定します。
③ dd　　日を設定します。
④ hh　　時を設定します。
⑤ mm　　分を設定します。
⑥ ss　　秒を設定します。
⑦ LTC IN　　LTCコネクターに接続されているLTCに合わせます。
⑧ ATC　　SDI INのATCに合わせます。
合わせるのは、時/分/秒で、年/月/日と秒の小数点以下は合わせられません。

- SDI1 LTC・・・・　SDI IN1のANC LTCに合わせます。
- SDI1 VITC・・・・　SDI IN1のANC VITCに合わせます。

（省略）

- SDI4 LTC・・・・　SDI IN4のANC LTCに合わせます。
- SDI4 VITC・・・・　SDI IN4のANC VITCに合わせます。

・ご注意

内部時計は工場出荷時には実際の現在時刻になっておりません。
また、本製品は内部時計の時刻を保持するバックアップ電池を搭載いておりませんので、本製品をご使用いただかない間に時刻が初期化される場合があります。
その場合は必要に応じてこちらの設定を再度行ってください。

5) SWN FILTER

MENU→SYSTEM→SWN FILTERの選択で、スイッチング ノイズ フィルターの設定をします。
このフィルターを有効にすると、ブランキングスイッチャーの信号切り替え時に生じる「SDI SIGNALエラー」を非検出にします。

① OFF　　OFFに設定します。
② ON　　ONに設定します。

6) PAYLOAD HD

MENU→SYSTEM→PAYLOAD HDの選択で、PAYLOAD IDをHD-SDI出力時に重畳するかを設定します。

① DISABLE　　DISABLEに設定します。
② ENABLE　　ENABLEに設定します。

（7） CONFIG

MENU→CONFIGの選択で、機能に関する各種設定をします。

1）DISPLAY

MENU→CONFIG→DISPLAYの選択で、オンスクリーン表示に関する設定をします。

① MULTI SCREEN

MULTI SCREENの分割数を設定します。

- 4 SCREENS・・・・・ 4分割画面にします。
- 6 SCREENS・・・・・ 6分割画面にします。

② OUT1 OSD MENU

SDI OUT 1のオンスクリーン表示を設定します。

※SDI OUT 2のオンスクリーン表示は設定できません。

- DISABLE・・・・・・・ 表示を無効にします。
- ENABLE・・・・・・・・ 表示を有効にします。

③ OUT 1 INFO DISP

SDI OUT 1のオンスクリーンの情報表示を設定します。

6 SCREENSでは表示できません。

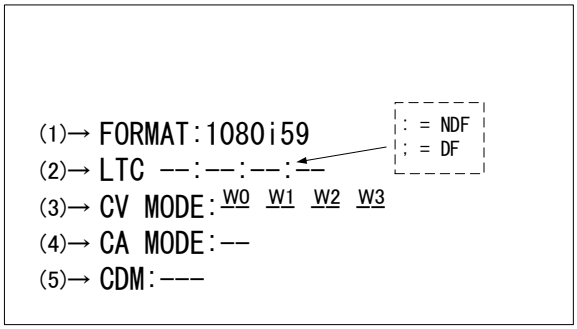
(a) SDI IN 1

SDI IN 1の設定をします。

- DISABLE・・・・・・・ 情報表示をしません。
- STATUS・・・・・・・・ STATUSを表示します。(図4-3-42～図4-3-45参照)
  表示内容はMENU→CONFIG→4SCREENS→TOP LEFT PARAM→STATUS DISPにて設定をしてください。
- LOG・・・・・・・・・・・ LOGを表示します。(図4-3-46参照)

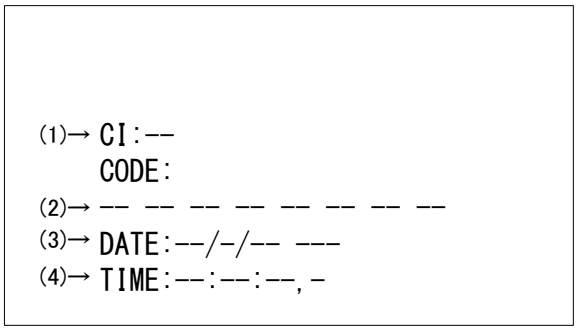
(b) SDI IN 2～SDI IN 4

SDI IN 2～SDI IN 4の設定をします。設定内容はSDI IN 1と同じです。



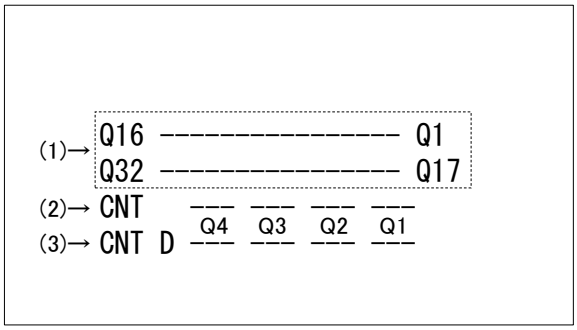
(1) 映像フォーマット
(2) タイムコード(:=NDF, ;=DF)
(3) カレント映像モード(16 進表示)
(4) カレント音声モード(16 進表示)
(5) カレントダウンミックス(2 進表示)

図4-3-42 STATUS NETQ MODE=VIDEO AUDIO 表示



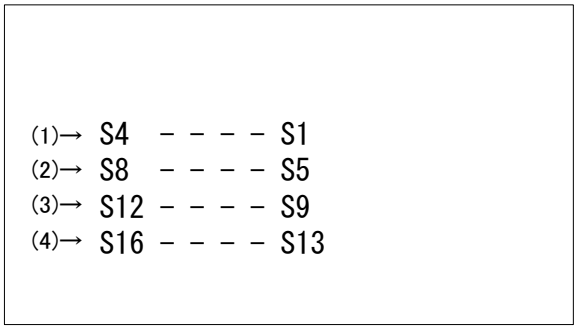
(1) CI(連続性指標)
(2) 発局コード
(3) 発局時刻(日付部)
(4) 発局時刻(時刻部+ミリ秒の百位)

図4-3-43 STATUS NETQ MODE=STATION 表示



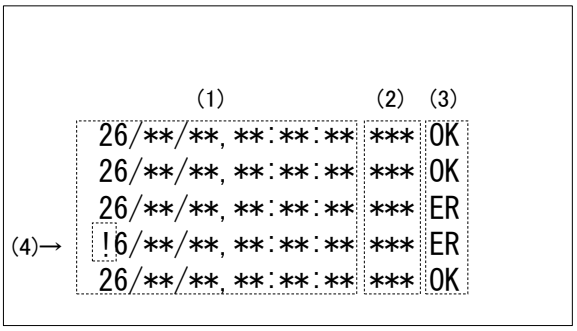
(1) トリガ信号 Q1～Q16
(2) トリガ用カウンタ Q1～Q4
(3) トリガ用カウントダウン Q1～Q4

図4-3-44 STATUS NETQ MODE=TRIGGER 表示



(1) ステータス信号 S1～S4
(2) ステータス信号 S5～S8
(3) ステータス信号 S9～S12
(4) ステータス信号 S13～S16

図4-3-45 STATUS NETQ MODE=STS BITS 表示



(1) エラーを検出した日時
(2) エラー内容
(3) エラーが解消されると OK の表示
(4) 未解消のエラー項目は"!"の表示

図4-3-46 LOG表示

④ OUT 2 INFO DISP

SDI OUT 2のオンスクリーンの情報表示を設定します。

6 SCREENSでは表示できません。

(a) SDI IN 1～SDI IN 4

SDI IN 1～SDI IN 4を設定します。設定内容はOUT 1 INFO DISPのSDI IN 1と同じです。

(b) SEQUENTIAL

SEQUENTIAL画面の設定をします。設定内容はOUT 1 INFO DISPのSDI IN 1と同じです。

⑤ OSD BRIGHT

オンスクリーンメニューの輝度を設定します。

2) SDI OUT2

MENU→CONFIG→SDI OUT2の選択で、SDI OUT 2の出力を設定します。

① MULTI SCREENS　4もしくは6分割画面を出力します。
② SDI IN1　SDI IN 1を出力します。
③ SDI IN2　SDI IN 2を出力します。
④ SDI IN3　SDI IN 3を出力します。
⑤ SDI IN4　SDI IN 4を出力します。
⑥ SEQUENTIAL　シーケンシャル切り替え映像を出力します。
⑦ TIME　タイムコード表示を出力します。

3）4 SCREENS

MENU→CONFIG→4 SCREENSの選択で、4分割画面の設定をします。

4分割画面は、各SDI入力映像を4分割して表示する機能です。

設定変更の内容によっては、設定の反映に時間を要する場合があります。

映像フォーマットを混在させる事が可能ですが、SDI INとSDI OUTの映像フォーマットが異なる映像はコマ落ち、ジャギー等が発生する場合があります。

4 SCREENS の表示

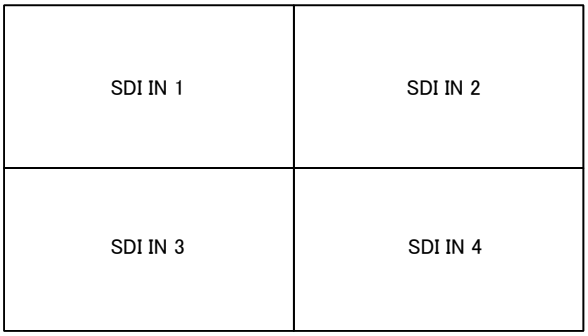


図4-3-49　4 SCREENSの各画面の名称

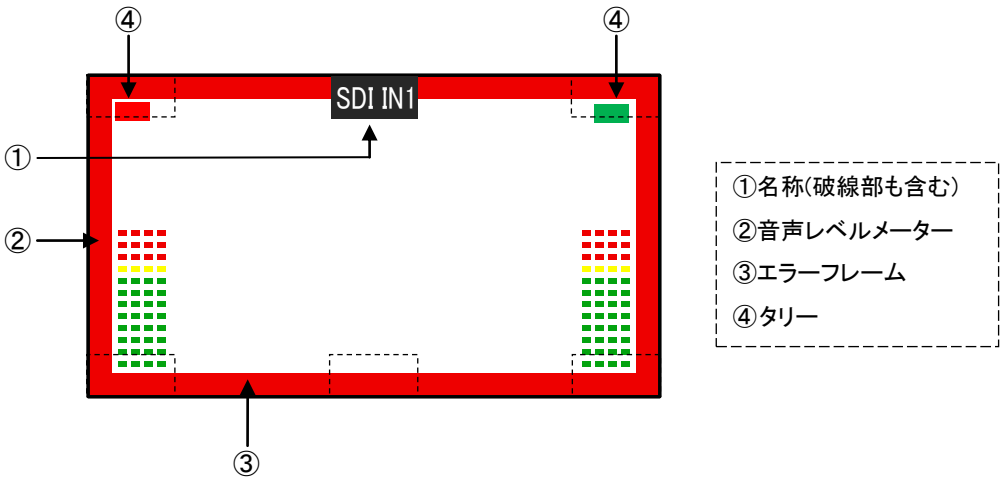


図4-3-50　4 SCREENSの各表示のイメージ(4分割の1画面)

① SDI IN 1PARAM

SDI IN 1の画面を設定します。

(a) DISP SELECT

表示をする映像を選択します。

- SDI IN 1・・・・・・・　SDI IN 1を表示します。(該当するSDI入力映像)
- BLACK・・・・・・・・　黒画面にします。
- TIME・・・・・・・・・・　内部時計やタイムコードを表示します。

(b) CHARACTER

表示をする名称を設定します。

この項目を操作すると、COMPARE検出、時計の表示が一時的に停止する場合があります。

- OFF・・・・・・・・・・　表示をしません。
- AUTO・・・・・・・・・・　自動で設定した名称を表示します。
- TITLE・・・・・・・・・・　タイトル設定をした名称を表示します。
  タイトルはの文字はMENU→CONFIG→SDI IN1～4 TITLEで設定します。
  タイトルの色はMENU→CONFIG→TITLE COLORで設定します。

(c) CHARACTER POSI

表示をする名称の位置を設定します。

この項目を操作すると、COMPARE検出、時計の表示が一時的に停止する場合があります。

- TOP LEFT・・・・・・・　左上に表示します。
- TOP CENTER・・・・　中央上に表示します。
- TOP RIGHT・・・・・　右上に表示します。
- BOTTOM LEFT・・　左下に表示します。
- BOTTOM CENTER　中央下に表示します。
- BOTTOM RIGHT・　右下に表示します。

(d) STATUS DISP

STATUSの表示を設定します。

STATUSを表示するには、MENU→CONFIG→DISPLAY→OUT1 INFO DISPもしくは
OUT2 INFO DISPの設定をSTATUSにしてください。

(d-1) TIME CODE SOURCE

NETQ MODE=VIDEO AUDIOで表示をするタイムコードを選択します。

- LTC・・・・・・　ANC LTCを表示します。
- VITC・・・・・・　ANC VITCを表示します。

(d-2) NETQ MODE

NETQの表示内容をを選択します。

- STATION・・・・・　CI、発局コード、発局時間を表示します。
- VIDEO AUDIO・・　映像フォーマット、タイムコード、カレント映像モード、
  カレント音声モード、カレントDM指定を表示します。
- TRIGGER・・・・・　トリガ信号、同カウンタ、同カウントダウンを表示します。
- STATUS BITS・　ステータス信号を表示します。

(e) AUDIO METER

音声レベルメーターの表示を設定します。

- DISABLE・・・・・・・　表示しません。
- ENABLE・・・・・・・・　表示します。

② SDI IN 2 PARAM～SDI IN 4 PARAM

SDI IN 2～SDI IN 4の画面を設定します。

設定内容はSDI IN 1PARAMと同じです。

③ AUDIO MUTE

出力する音声をミュートします。

- DIABLE・・・・・・・・　ミュートしません。
- ENABLE・・・・・・・・　ミュートします。

④ TALLY PATTERN

タリー表示を設定します。

- DISABLE・・・・・・・・・表示しません。
- TALLY 1・・・・・・・・・タリーパターン1を表示します。
- TALLY 2・・・・・・・・・タリーパターン2を表示します。

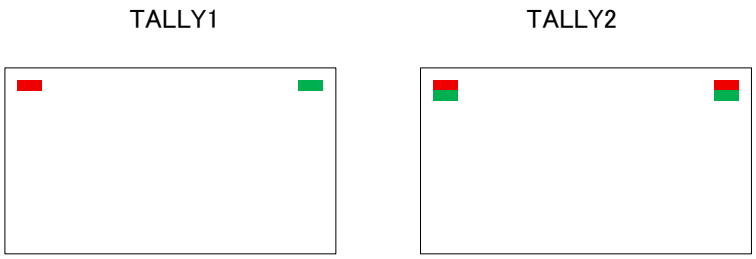


図4-3-51　タリーパターンの種類

⑤ ERROR INFO

SDI信号のエラー情報表示の設定をします。

- DISABLE・・・・・・・・ 表示しません。
- ENABLE・・・・・・・・・ 表示します。

⑥ ERROR FRAME

エラー発生時のフレーム表示を設定します。

エラーフレームの色はMENU→CONFIG→ERROR FRAME COLORで設定します。

- DISABLE・・・・・・・・ 表示しません。
- NARROW FRAME・ 細いフレームを表示します。
- WIDE FRAME・・・・・ 太いフレームを表示します。

4）6 SCREESN

MENU→CONFIG→6 SCREENSの選択で、6分割画面の設定をします。

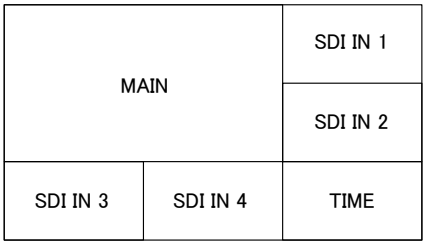
6分割画面は、各SDI入力映像を6つのスクリーンに配置して表示する機能です。

設定変更の内容によっては、設定の反映に時間を要する場合があります。

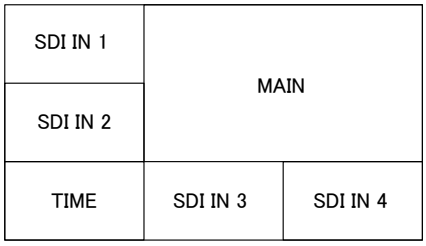
映像フォーマットを混在させる事が可能ですが、SDI INとSDI OUTの映像フォーマットが異なる映像はコマ落ち、ジャギー等が発生する場合があります。

6 SCREENS の表示

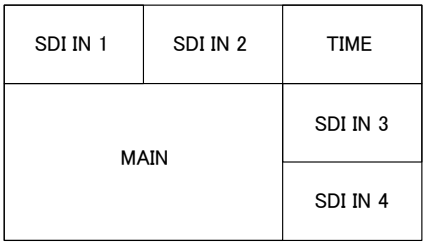
MAIN SCREEN : TOP LEFT



MAIN SCREEN : TOP RIGHT



MAIN SCREEN : BOTTOM LEFT



MAIN SCREEN : BOTTOM RIGHT

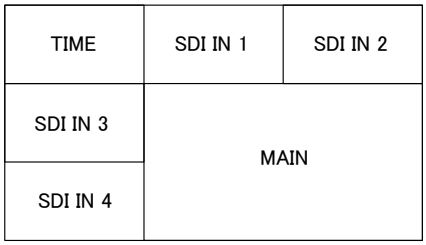


図4-3-x 6 SCREENSの各画面の名称

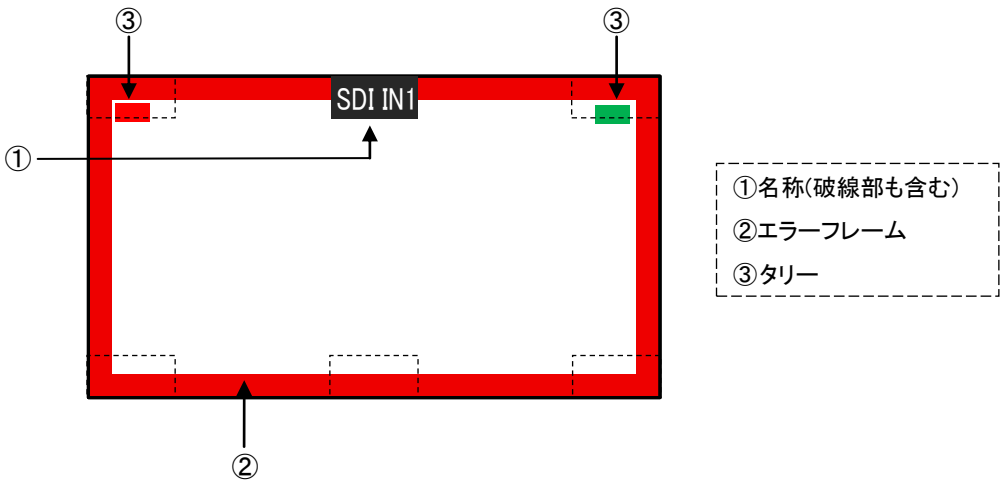


図4-3-x 6 SCRRENSのMAIN表示のイメージ

6 SCREENS の表示(続き)

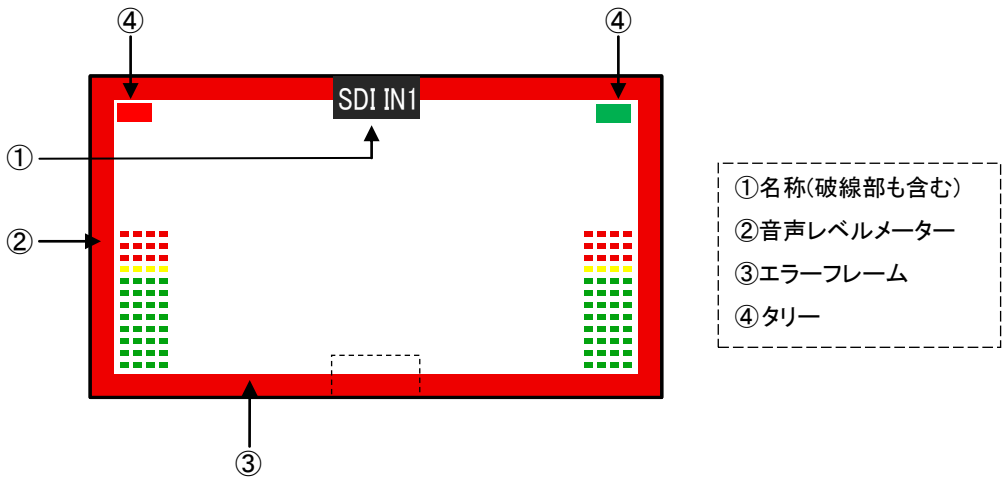


図4-3-x 6 SCRRENSのSDI IN 1～4表示のイメージ

① MAIN SCREEN

メイン画面を設定します。

(a) POSITION

表示をする位置を設定します。

- TOP LEFT・・・・・・　左上にします。
- TOP RIGHT・・・・・　右上にします。
- BOTTOM LEFT・・・ 左下にします。
- BOTTOM RIGHT・・ 右下にします。

(b) DISP SELECT

表示をする映像を選択します。

- SDI IN1・・・・・・・・・　SDI IN 1を表示します。
- SDI IN2・・・・・・・・・　SDI IN 2を表示します。
- SDI IN3・・・・・・・・・　SDI IN 3を表示します。
- SDI IN4・・・・・・・・・　SDI IN 4を表示します。
- TIME・・・・・・・・・・・　タイムコードを表示します 。

(c) CHARACTER

表示をする名称を設定します。

この項目を操作すると、COMPARE検出、時計の表示が一時的に停止する場合があります。

- OFF・・・・・・・・・・・ 表示をしません。
- AUTO・・・・・・・・・・ 自動で設定した名称を表示します。
- TITLE・・・・・・・・・・ タイトル設定をした名称を表示します。
  タイトルはの文字はMENU→CONFIG→SDI IN1～4 TITLEで設定します。
  タイトルの色はMENU→CONFIG→TITLE COLORで設定します。

(d) CHARACTER POSI

表示をする名称の位置を設定します。

この項目を操作すると、COMPARE検出、時計の表示が一時的に停止する場合があります。

- TOP LEFT・・・・・・・ 左上に表示します。
- TOP CENTER・・・・ 中央上に表示します。
- TOP RIGHT・・・・・ 右上に表示します。
- BOTTOM LEFT・・ 左下に表示します。
- BOTTOM CENTER 中央下に表示します。
- BOTTOM RIGHT・ 右下に表示します。

② SDI IN 1 PARAM

SDI IN 1の画面をを設定します。

(a) DISP SELECT

表示をする映像を選択します。

- SDI IN・・・・・・・・・ SDI IN 1を表示します。(該当するSDI入力映像)
- BLACK・・・・・・・・ 黒画面にします。

(b) CHARACTER

表示をする名称を設定します。

この項目を操作すると、COMPARE検出、時計の表示が一時的に停止する場合があります。

- OFF・・・・・・・・・・・ 表示をしません。
- AUTO・・・・・・・・・・ 自動で設定した名称を表示します。
- TITLE・・・・・・・・・・ タイトル設定をした名称を表示します。
  タイトルはの文字はMENU→CONFIG→SDI IN1～4 TITLEで設定します。
  タイトルの色はMENU→CONFIG→TITLE COLORで設定します。

(c) CHARACTER POSI

表示をする名称の位置を設定します。

この項目を操作すると、COMPARE検出、時計の表示が一時的に停止する場合があります。

- TOP・・・・・・・・・・・・ 上に表示します。
- BOTTOM・・・・・・・・・ 下に表示します。

(d) AUDIO METER

音声レベルメーターの表示を設定します。

- DISABLE・・・・・・・ 表示しません。
- ENABLE・・・・・・・・・ 表示します。

③ SDI IN 2 PARAM～SDI IN 4 PARAM

SDI IN 2～SDI IN 4の画面を設定します。

設定内容はSDI IN 1PARAMと同じです。

④ AUDIO MODE

出力する音声を選択します。

- MAIN SCREEN・・・ MAIN SCREENで選択されている映像の音声を出力します。
- SDI IN 1・・・・・・・・ SDI IN 1を出力します。
- SDI IN 2・・・・・・・・ SDI IN 2を出力します。
- SDI IN 3・・・・・・・・ SDI IN 3を出力します。
- SDI IN 4・・・・・・・・ SDI IN 4を出力します。
- MUTE・・・・・・・・・・ 無音にします。

⑤ TALLY PATTERN

タリー表示を設定します。

- DISABLE・・・・・・・・・・ 表示しません。
- TALLY 1・・・・・・・・・・ タリーパターン1を表示します。
- TALLY 2・・・・・・・・・・ タリーパターン2を表示します。

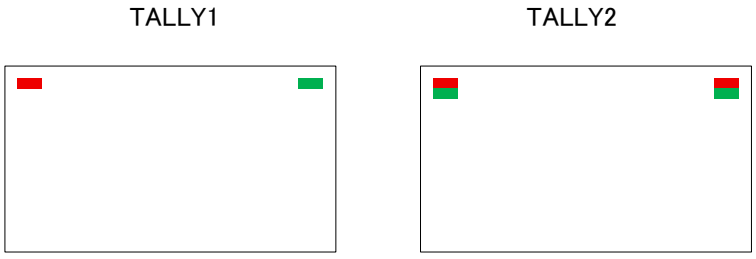


図4-3-xx タリーパターンの種類

⑥ ERROR INFO

SDI信号のエラー情報表示の設定をします。

- DISABLE・・・・・・・・ 表示しません。
- ENABLE・・・・・・・・・ 表示します。

⑦ ERROR FRAME

エラー発生時のフレーム表示を設定します。

エラーフレームの色はMENU→CONFIG→ERROR FRAME COLORで設定します。

- DISABLE・・・・・・・・ 表示しません。
- NARROW FRAME・ 細いフレームを表示します。
- WIDE FRAME・・・・・ 太いフレームを表示します。

5) SEQUENTIAL

MENU→CONFIG→SEQUENTIALの選択で、シーケンシャル切り替え表示の設定をします。

シーケンシャル切り替え表示は、各SDI入力映像を全画面で順番に切り替えて表示する機能です。

設定変更の内容によっては、設定の反映に時間を要する場合があります。

SDI INとSDI OUTの映像フォーマットが異なる場合はコマ落ち、ジャギー等が発生する場合があります。

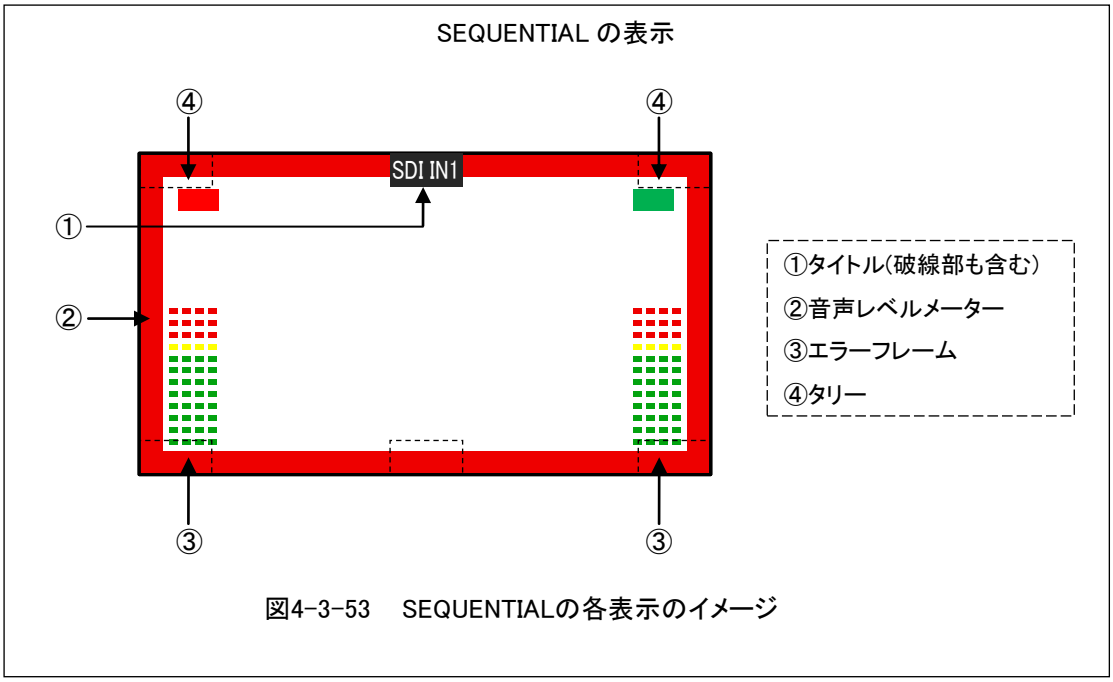


図4-3-53　SEQUENTIALの各表示のイメージ

① TRANSTION TIME

映像の切り替え時間を秒単位で設定します。

② SDI IN 1～4

SDI IN 1～4の表示を設定します。

- DISABLE・・・・・・・・　表示しません。
- ENABLE・・・・・・・・・　表示します。

③ CHARACTER

表示する名称を設定します。

この項目を操作すると、時計の表示が一時的に停止する場合があります。

- OFF・・・・・・・・・・・　文字を表示しません。
- AUTO・・・・・・・・・・　自動で設定した文字を表示します。
- TITLE・・・・・・・・・・　タイトル設定した文字を表示します。

  タイトルはの文字はMENU→CONFIG→SDI IN1～4 TITLEで設定します。

  タイトルの色はMENU→CONFIG→TITLE COLORで設定します。

④ CHARACTER POSI

表示をする名称の位置を設定します。

この項目を操作すると、時計の表示が一時的に停止する場合があります。

- TOP LEFT・・・・・・・ 左上に表示します。
- TOP CENTER・・・・ 中央上に表示します。
- TOP RIGHT・・・・・ 右上に表示します。
- BOTTOM LEFT・・ 左下に表示します。
- BOTTOM CENTER 中央下に表示します。
- BOTTOM RIGHT・ 右下に表示します。

⑤ STATUS DISP

STATUSの表示を設定します。

STATUSを表示するには、MENU→CONFIG→DISPLAY→OUT2 INFO DISP→SEQUENTIALの設定をSTATUSにしてください。

(a) TIME CODE SOURCE

NETQ MODE=VIDEO AUDIOで表示をするタイムコードを選択します。

- LTC・・・・・ ANC LTCを表示します。
- VITC・・・・・ ANC VITCを表示します。

(b) NETQ MODE

NETQの表示内容をを選択します。

- STATION・・・・・ CI、発局コード、発局時間を表示します。
- VIDEO AUDIO・・ 映像フォーマット、タイムコード、カレント映像モード、カレント音声モード、カレントDM指定を表示します。
- TRIGGER・・・・・ トリガ信号、同カウンタ、同カウントダウンを表示します。
- STATUS BITS・ ステータス信号を表示します。

⑥ AUDIO METER

音声レベルメーターを表示します。

- DISABLE・・・・・・・・・表示しません。
- ENABLE・・・・・・・・・ 表示します。

⑦ TALLY PATTERN

タリー表示を設定します。(図4-3-51参照)

- DISABLE・・・・・・・・・表示しません。
- TALLY 1・・・・・・・・・ タリーパターン1を表示します。
- TALLY 2・・・・・・・・・ タリーパターン2を表示します。

⑧ ERROR INFO

SDI信号のエラー情報表示の設定をします。

- DISABLE・・・・・・・・ 表示しません。
- ENABLE・・・・・・・・・ 表示します。

⑨ ERROR FRAME

エラー発生時のフレーム表示を設定します。

エラーフレームの色はMENU→CONFIG→ERROR FRAME COLORで設定します。

- DISABLE・・・・・・・・ 表示しません。
- NARROW FRAME・ 細いフレームを表示します。
- WIDE FRAME・・・・・ 太いフレームを表示します。

6) SDI IN 1～4 TITLE

MENU→CONFIG→SDI IN 1～4 TITLEの選択で、SDI IN 1～4のそれぞれのタイトル名を設定します。

この項目を操作すると、時計の表示が一時的に停止する場合があります。

英数字と”-“、スペースを設定できます。(英小文字は非対応)

全画面では20文字まで表示できます。

4分割表示では20文字まで表示できます。

6分割の表示では10文字まで表示できます。

7) TIME DISP

MENU→CONFIG→TIME DISPの選択で、時計表示を設定します。

① DISP SELECT

背景画像を選択します。

6分割画面のMAIN SCREENではないSDI IN 1～4の画面の背景は黒画面のみになります。

- BLACK・・・・・・・・・ 黒画面にします。
- SDI1・・・・・・・・・・・ SDI IN 1にします。
- SDI2・・・・・・・・・・・ SDI IN 2にします。
- SDI3・・・・・・・・・・・ SDI IN 3にします。
- SDI4・・・・・・・・・・・ SDI IN 4にします。

② SOURCE SELECT

表示をする時計もしくはタイムコードを選択します。

- RTC・・・・・・・・・・・・ 内部時計を表示します。
- SDI1 LTC・・・・・・・ SDI IN 1のANC LTCを表示します。
- SDI1 VITC・・・・・・ SDI IN 1のANC VITCを表示します。
- SDI2 LTC・・・・・・・ SDI IN 2のANC LTCを表示します。
- SDI2 VITC・・・・・・ SDI IN 2のANC VITCを表示します。
- SDI3 LTC・・・・・・・ SDI IN 3のANC LTCを表示します。
- SDI3 VITC・・・・・・ SDI IN 3のANC VITCを表示します。
- SDI4 LTC・・・・・・・ SDI IN 4のANC LTCを表示します。
- SDI4 VITC・・・・・・ SDI IN 4のANC VITCを表示します。

③ OSD POSITION

表示位置を設定します。

6分割画面はMAIN SCREENでのみ設定可能です。

- CENTER・・・・・・・・ 中央に表示します。
- TOP・・・・・・・・・・・・ 上側に表示します。
- BOTTOM・・・・・・・・ 下側に表示します。

④ OSD SIZE

表示の大きさを設定します。

全画面表示、6分割画面のMAIN SCREENでのみ設定可能です。

- SMALL・・・・・・・・・ 文字サイズ(小)にします。
- MEDIUM・・・・・・・・・ 文字サイズ(中)にします。
- LARGE・・・・・・・・・ 文字サイズ(大)にします。
- EXTRA LARGE・・・ 文字サイズ(特大)にします。

⑤ OSD FORMAT

表示形式を設定します。

- NORMAL・・・・・・・・ ソース名称+時刻で表示します。
  例) LTC 01.23.45;281
- SHORT・・・・・・・・・ 時刻のみで表示します。
  例) 01.23.45;281
- TIME・・・・・・・・・・・ 時刻からミリ秒もしくはフレームを省略して表示します。
  例) 01.23.45

8) OUT2 ERR CHG

MENU→CONFIG→OUT2 ERR CHGの選択で、エラー発生時のSDI OUT 2の切り替え動作を設定します。

① OFF　　切り替えをしません。(SDI OUT 2の設定に従います)
② ON　　エラーを検出したSDI入力信号に切り替えます。

9) AUDIO METER CHANNEL

MENU→CONFIG→AUDIO METER CHANNELの選択で、音声レベルメーターで表示するCHを設定します。

① SDI IN 1

SDI IN 1の音声レベルメーターを設定します。

- CH1-8・・・・・・・・・・ CH1-8を表示します。
- CH9-16・・・・・・・・・ CH9-16を表示します。

② SDI IN 2～SDI IN 4

SDI IN 2～SDI IN 4の音声レベルメーターを設定します。
設定方法はSDI IN 1と同じです。

10) TITLE COLOR

TITLEのカラーを設定します。

① FG COLOR

文字の色を設定します。

- HUE・・・・・・・・・・・・ 色相を設定します。
- LUMI・・・・・・・・・・・ 輝度を設定します。
- SAT・・・・・・・・・・・・ 彩度を設定します。

② BG COLOR

プレートの色を設定します。

設定方補はFG COLORと同じです。

11) ERROR FRAME COLOR

エラーフレームのカラーを設定します。

- HUE・・・・・・・・・・・・ 色相を設定します。
- LUMI・・・・・・・・・・・ 輝度を設定します。
- SAT・・・・・・・・・・・・ 彩度を設定します。

（8）INFORMATION

MENU→INFORMATIONの選択で、各種ステータスの表示をします。

① VERSION

モジュールのバージョン情報を表示します。

- SOFT・・・・・・・・・・・ ソフトウェアのバージョン情報を表示します。
- HARD MAIN・・・・・・ ハードウェアのバージョン情報を表示します。
- HARD GEN・・・・・・ ゲンロックのハードウェアのバージョン情報を表示します。

② STATUS

各SDI入力の状態とオプションの情報を表示します。

- SDI IN1～4・・・・・・ SDI IN 1～4の各信号の状態を表示します。
  「OK」・・・・・・・・・・ 入力信号に異常がありません。
  「NO-SIG」・・・・・・ 入力信号がありません。
  「UNFORMAT」・・ 入力信号がロックできません。

③ IN1～4 PAYLOAD IN

SDI IN 1～4のペイロードIDを表示します。

PAYLOAD IDは16進数8桁でBYTE4～BYTE1の順に表示します。
また、PAYLOAD IDを含まない場合、”--------“と表示します。

④ PAYLOAD OUT

SDI OUT(1,2共通)のペイロードを表示します。

PAYLOAD IDは16進数8桁でBYTE4～BYTE1の順に表示します。
また、PAYLOAD IDを含まない場合、”--------“と表示します。

（9）MAINTENANCE

MENU→MAINTENANCEの選択で、メンテナンスの操作をします。

1）INIT CONDITION

MENU→MAINTENANCE→INIT CONDITIONの選択で、全ての設定値を工場出荷時に戻せます。

① YES(SETボタン)　　初期化を実行します。
② NO(MENU/ESCボタン)　　初期化を実行せず、キャンセルします。

2）s1～4 ERROR DUMP

MENU→MAINTENANCE→s1～4 ERROR DUMPの選択で、SDI IN 1～4の各エラーの検出状態をオンスクリーンで表示します。

・確認方法

MENU→MAINTENANCE→s1 ERROR DUMPを選択します。(SDI IN 1の場合)
▲ ▼ ボタンの操作で表示範囲を調整してください。
表示を抜ける時は MENU/ESC ボタンを押してください。

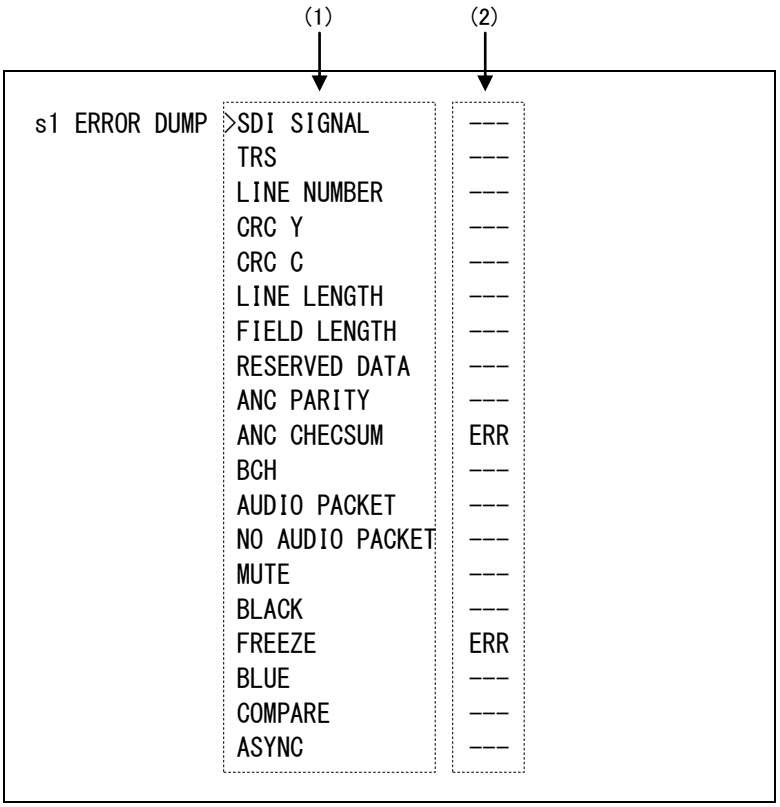


図4-3-57　pERROR DUMP

(1)　検出項目を示します。
(2)　検出状態を示します。
- ---・・・・・　エラーを検出していません。
- ERR・・・・・　エラーを検出しています。

3) FAN ROTATE

MENU→MAINTENANCE→FAN ROTATEの選択で、チップクーリングFANの回転数を表示します。
正常時は“---　xxxx”(xxxxは回転数)と表示され、異常時は”ERR　xxxx”と表示されます。
異常時のご使用は可能な限り避け、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

4) DEVICE TEMP

MENU→MAINTENANCE→DEV TEMPの選択で、メインデバイス温度を表示します。

5. エラー検出について

1. SDI SIGNAL

SDI信号なし

SDI信号未検出および映像フォーマットが一致しない場合、エラーにします。

映像フォーマットの不一致の検出の有無は、MENU→ERROR DETECT→UNFORMAT NO ERRORで設定をしてください。

工場出荷設定ではこの検出は含まれます。

2. TRS

映像タイミング基準コードエラー

映像タイミング基準コード(TRS)のH,V,FとP3～0の関係が一致しない場合、エラーにします。

映像タイミング基準コード

ワード番号	ビット番号									
	9 (MSB)	8	7	6	5	4	3	2	1	0 (LSB)
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	1	F	V	H	P3	P2	P1	P0	0	0

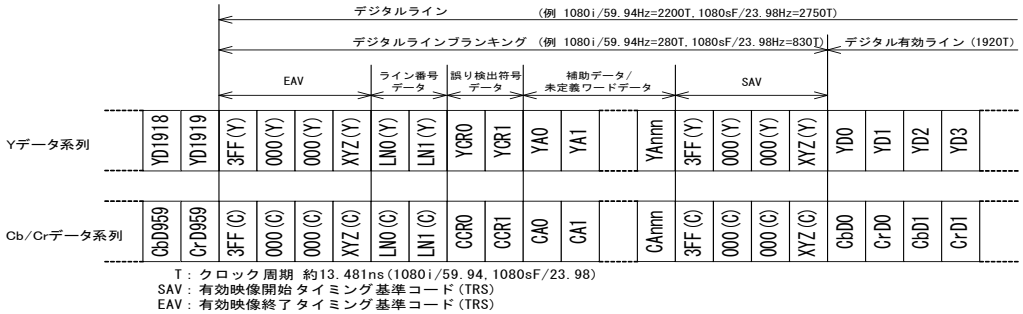
F=0：第1フィールドの期間　V=0：デジタルアクティブフィールドの期間
1：第2フィールドの期間　1：デジタルフィールドブランキングの期間
H=0：SAV　P3～0：プロテクションビット
1：EAV

図5-1　TRSコード

3. LINE NUMBER

ラインナンバーエラー

映像タイミング基準コード(TRS)のFから数えたライン番号とライン番号データが一致しない場合、エラーにします。



T：クロック周期 約13.481ns(1080i/59.94, 1080sF/23.98)
SAV：有効映像開始タイミング基準コード(TRS)
EAV：有効映像終了タイミング基準コード(TRS)

図5-2　データストリームの構造

4. CRC Y

Yデータ系列CRCエラー

Yデータ系列、前ラインのワード(YD0)からライン番号データの最後のワード(LN1)までの誤り検出符号の計算値と誤り検出符号データ(YCR0、YCR1)が一致しない場合、エラーにします。

5. CRC C

Cb,Crデータ系列CRCエラー

Cb/Crデータ系列、前ラインのワード(CbD0)からライン番号データの最後のワード(LN1)までの誤り検出符号の計算値と誤り検出符号データ(CCR0、CCR1)が一致しない場合、エラーにします。

6. LINE LENGTH

1ラインの長さエラー

SAVと次のSAV、SAVとEAVのサンプル数に異常がある場合、エラーにします。

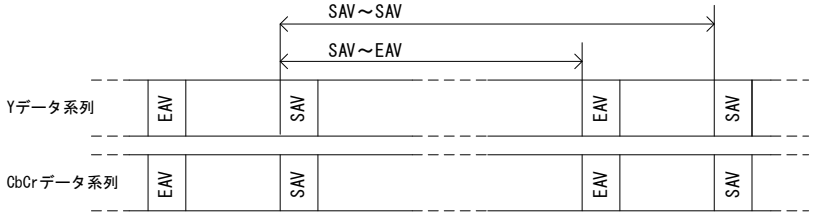


図5-3 SAVとEAVの位置

7. FIELD LENGTH

1フィールドの長さエラー

フィールド、デジタルフィールドブランキングのライン数に異常がある場合、エラーにします。

8. RESERVED DATA

リザーブドデータエラー

SAV、EAV、ADF以外に"000h～003h"、"3FCh～3FFh"のデータがある場合、エラーにします。

9. ANC PARITY

補助データパケットのパリティーエラー

補助データパケットのDIDワード,DBN/SDIDワード,DCワードのパリティーが一致しない場合、エラーにします。

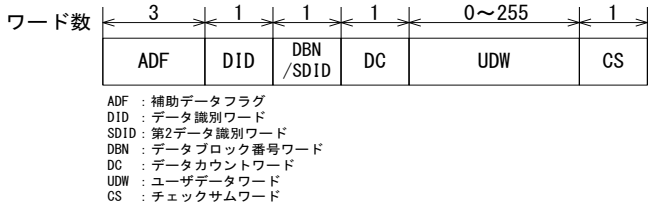


図5-4 音声データパケットの構造

10. ANC CHECKSUM

補助データパケットのチェックサムエラー

補助データパケットのDIDワードからUDWワードまでの総和の下位9ビットとCSワードが一致しない場合、エラーにします。

11. BCH

エンベデッド･オーディオのエラー

音声データパケットのADFワードから音声データCH4までの誤り訂正の生成値と誤り訂正データ(ECC0～5)が一致しない場合、エラーにします。

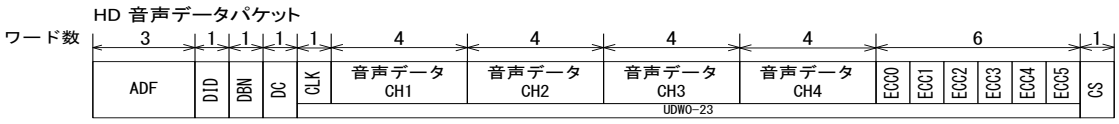


図5-5 誤り訂正データ(ECC0～5)

12. AUDIO PACKET

エンベデッド･オーディオ･パケットのデータブロック番号インクリメントエラー

音声データパケットのデータブロック番号ワード(DBN)がパケットごとに1ずつ増加し、1から255までの値の繰り返しに異常がある場合、エラーにします。

13. NO AUDIO PACKET

エンベデッド･オーディオなし

音声データパケットがない時や、音声クロック位相情報に異常がある場合にエラーにします。

音声クロック位相情報の検出の有無はMENU→ERROR DETECT→NO AUDIO PKT PHASEで設定をしてください。

工場出荷設定ではこの検出は含まれません。

音声データパケットのグループが一つでも検知されるとエラーにしません。

14. MUTE

無音検出

音声レベルのピーク値が閾値(LEVEL設定:-60～-80dBFS)以下で一定時間(DETECT TIME設定:0～999秒の範囲)継続後、エラーにします。(1～8CH対応)

15. BLACK

黒味検出

この検出はマスク(MASK)で検出範囲を調整できます。(画面の約97.5%以内の範囲で)

輝度レベルのピーク値が閾値(LEVEL設定:0～99IRE)以下で一定時間(TIME設定:0～999秒の範囲)継続後、エラーにします。

※画面の約97.5%を検出領域としています。

※通常時のコンテンツに含まれる黒系映像と障害時の黒味映像を識別するために、単独で使用せず**必ずFREEZE/MUTEなどを併用**してください。

16. FREEZE

フリーズ検出

この検出はマスク(MASK)で検出範囲を調整できます。(画面の約97.5%以内の範囲で)

映像のラインごとにCRCを演算した1フィールドが1フレーム前の値と一致した状態が一定時間(DETECT TIME設定:0～999秒の範囲)継続後、エラーにします。

※画面の約97.5%を検出領域としています。

※フレーム間で圧縮した映像やノイズある映像は目視で静止していても、映像データが1ビットでも異なると動画と判定しフリーズ検出できません。

※映画等の3-2プルダウン変換の処理をした映像は静止していなくてもダブりのフィールドでフリーズを検出しますので、DETECT TIMEの設定を最低2フレーム以上にしてください。

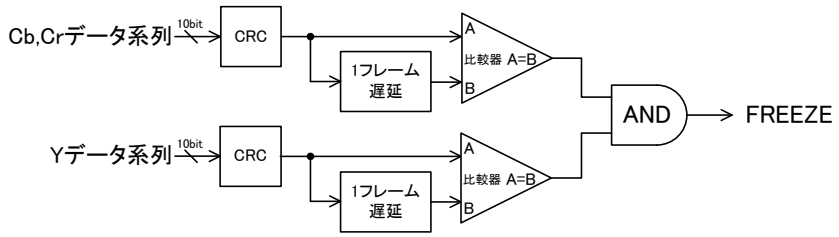


図5-6 フリーズの検出

17. BLUE

青色検出

色相が青色を基準に約-32～＋25度、サンプル点が画面の約90%を占めた状態が一定時間(DETECT TIME設定:0～999秒の範囲)継続後、エラーにします。

※画面全体(輝度のみのサンプル点を除く)を検出領域としています。

※輝度が0IRE以下の場合や彩度が約35%以下の場合は検出しません。

※通常時のコンテンツに含まれる青系映像と障害時の青色映像を識別するために、単独で使用せず**必ずFREEZE/MUTEなどを併用**してください。

18. COMPARE

映像比較

各SDI入力映像を比較して不一致があればエラーにします。

検出モードとして、SDI IN 1～4を全て比較する"ALL"モードと、SDI IN 1と2、SDI IN 3と4の各ペアを比較する"PAIR"モードがあります。(MENU→PRESET→COMPARE PARAM→MODEにて設定)

いずれも、映像の画面全体で1サンプルでも不一致があれば、1フレーム＋一定時間(DETECT TIME設定:0～19800フレームの範囲)継続後、エラーにします。

映像比較は、ライン毎に画素をCRC計算したデータを用いて行われます。

・DELAY設定

比較をする映像をSDI入力別に遅延させる事ができます。

設定範囲は0～240フレームです。(MENU→PRESET→s1～4 ERROR PRESET→s1～4 COMPARE→s1～4 DELAYにて設定)

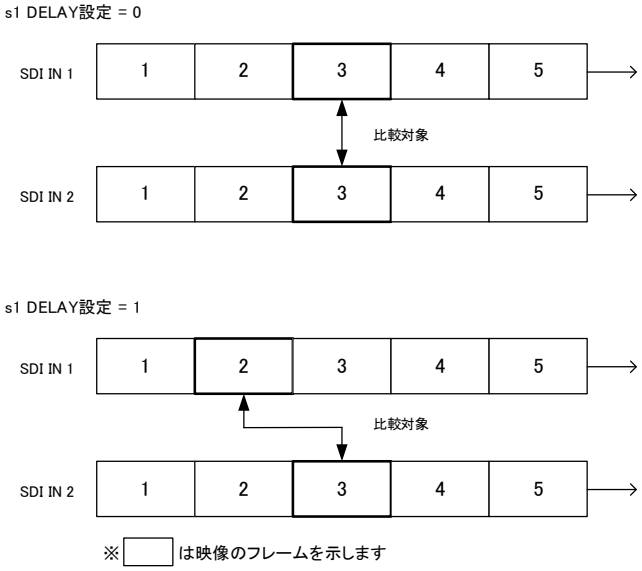


図4-3-16 DELAY設定

・FRAME設定

検出モードが"PAIR"の時に有効な設定です。

映像比較で参照するフレームの数を設定します。設定範囲は1～3フレームで、SDI IN 1～4共通です。

1フレーム設定時、SDI IN 1(もしくはIN 3)の1つのフレームとSDI IN 2(もしくはIN 4)の1つのフレームを比較します。

3フレーム設定時、SDI IN 1(もくしはIN 3)の1つのフレームとSDI IN 2(もしくはIN 4)の3つのフレームを比較します。

この比較するフレームで一致する映像がなければエラーと判定します。

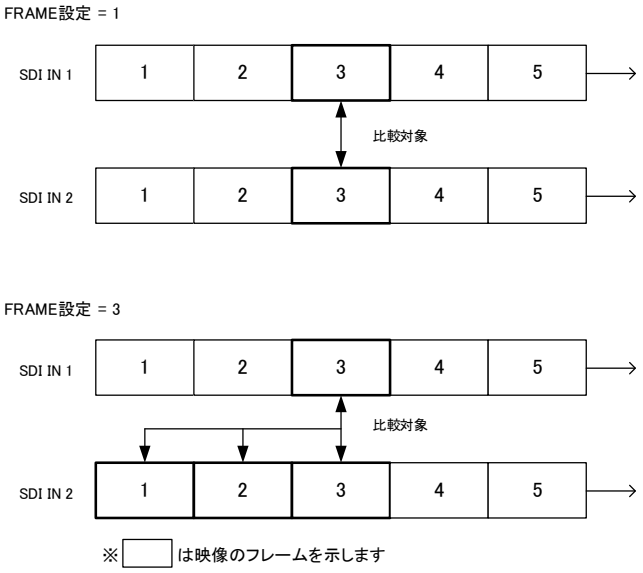


図4-3-18 FRAME設定

・RANGE設定

エラー判定を行う映像領域を設定します。設定範囲は80～100%で、SDI IN 1～4共通です。

100%設定時、比較する映像が全領域で一致しないとエラーになります。

80%設定時、比較する映像の80%の領域で一致しないと エラーになります。

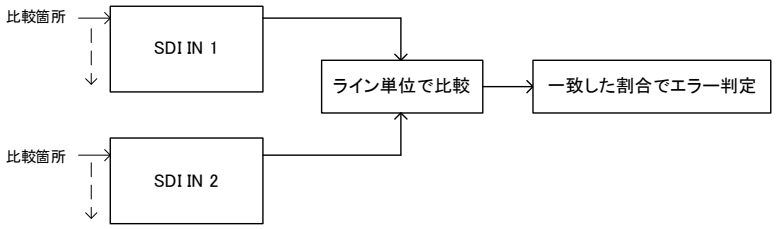


図4-3-17 RANGE設定

20. ASYNC(将来対応)

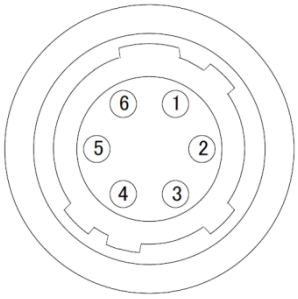
非同期検出

各SDI入力信号がリファレンス信号(MENU→SYSTEM→REFERENCE SELECTにて設定)に対して同期をしていないとエラーにします。

なお、リファレンス信号に対して判定をするSDI入力信号の位相の変化が、5フレームの時間で2ピクセル以内の時はエラーとしては検出できません。

6. 外部インターフェース

1. REMOTE



NO.	信号名称	I/O	機能
1	STATUS	I	GPIO-01 STATUS
2	SCL	O	I2C SCL
3	SDA	IO	I2C_SDA
4	RESET	O	GPIO-01 RESET
5	+5V	O	VCC
6	GND	GND	GND

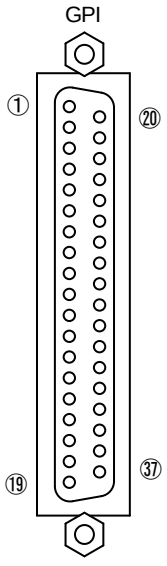
筐体前面から見たピン番号
HR10A-7 R-6S ヒロセ電機社製

REMOTE コネクターは専用のオプションケーブル GPIO-01 を接続します。

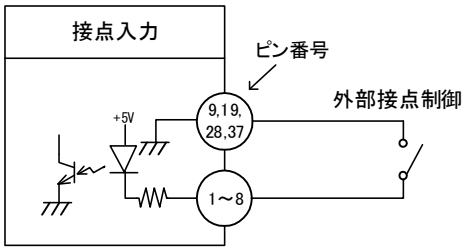
2. GPIO-01 GPIO インターフェースケーブル(オプション)

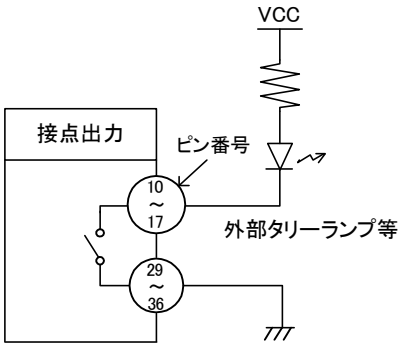
GPIO-01 は GPIO 入出力を行うケーブルです。
当ケーブルの接続は、本体の起動前に行ってください。
起動後にケーブルの抜き差しを行うとケーブル内部の部品が破損する恐れがあります。

(1) コネクタの外観と内部接続



Dsub-37pin(f)





※接点出力の絶対最大定格は 60V/300mA です。外部抵抗で電流を 300mA 以下に制限してください。
※TTL 信号で接点制御する場合は、吸い込み電流が 12mA 以上のデバイスで駆動してください。

(2) コネクタのピンアサイン

表 6-2-1 GPIO-01 のコネクタのピンアサイン

ピン番号	I/O	信号	名称
1	I	接点入力	IN 1
2	I	接点入力	IN 2
3	I	接点入力	IN 3
4	I	接点入力	IN 4
5	I	接点入力	IN 5
6	I	接点入力	IN 6
7	I	接点入力	IN 7
8	I	接点入力	IN 8
9	−	GND	GND
10	O	接点出力	OUT 1
11	O	接点出力	OUT 2
12	O	接点出力	OUT 3
13	O	接点出力	OUT 4
14	O	接点出力	OUT 5
15	O	接点出力	OUT 6
16	O	接点出力	OUT 7
17	O	接点出力	OUT 8
18	−	NC	NC
19	−	GND	GND

ピン番号	I/O	信号	名称
20	−	NC	NC
21	−	NC	NC
22	−	NC	NC
23	−	NC	NC
24	−	NC	NC
25	−	NC	NC
26	−	NC	NC
27	−	NC	NC
28	−	GND	GND
29	−	COM	OUT 1 COM
30	−	COM	OUT 2 COM
31	−	COM	OUT 3 COM
32	−	COM	OUT 4 COM
33	−	COM	OUT 5 COM
34	−	COM	OUT 6 COM
35	−	COM	OUT 7 COM
36	−	COM	OUT 8 COM
37	−	GND	GND

8. トラブルシューティング

トラブルが発生した場合の対処方法です。
（文中の→は対処方法を示しています）

現 象　電源が入らない！
原 因　・AC電源アダプターがコンセントに挿入されていますか？
・AC電源アダプターのプラグが本体から抜けかかっていませんか？
→AC電源アダプターの接続を確認してください。

現 象　ボタンを押してもボタン操作ができない！
原 因　・ボタン操作が無効になっています。
→解除するには LOCK / ALM CLR スイッチを下側にしてください。

現 象　メニューの設定値が保存されない！
原 因　・設定値を選択後に SET ボタンを押し、MENU/ESC ボタンを押しましたか？
→設定値を選択後に SET ボタンを押し、MENU/ESC ボタンを押してメニューから抜けてください。

お問い合わせは、当社サポートセンターまでご連絡ください。

9. 仕 様

1. 機 能

エラーログ	各SDI入力に対するイベントを記録します。 イベント内容は、日付、時間、エラー内容です。 ※電源OFFにて消去されます。
エラーカウント	999カウントまでに対応しています。
信号検出項目	
・ SDI SIGNAL	SDI信号のなし
・ TRS	映像タイミング基準コード(TRS)のエラー
・ LINE NUMBER	ラインナンバーエラー
・ CRC Y	Yデータ系列CRCエラー
・ CRC C	Cb,Crデータ系列CRCエラー
・ LINE LENGTH	1ラインの長さエラー
・ FIELD LENGTH	1フィールドの長さエラー
・ RESERVED DATA	リザーブドデータエラー
・ ANC PARITY	補助データパケットのパリティーエラー
・ ANC CHECKSUM	補助データパケットのチェックサムエラー
・ BCH	エンベデッド･オーディオのエラー
・ AUDIO PACKET	エンベデッド･オーディオ･パケットのデータブロック番号インクリメントエラー
・ NO AUDIO PACKET	エンベデッド･オーディオ･パケットなし
・ MUTE	オーディオ無音検出（1～8CH 対応）
・ BLACK	黒味検出
・ BLUE	青色検出
・ FREEZE	フリーズ検出（映像データが完全に静止した静止画用）
・ COMPARE	SDI入力信号の映像比較
・ ASYNC(将来対応)	SDI入力信号のリファレンス信号に対する非同期状態を検出
4分割表示	SDI IN 1～4を4分割して表示します。
6分割表示	SDI IN 1～4、選択されたタイムコードを表示します。
全画面表示	指定した入力を全画面に表示、シーケンシャル表示にも対応します。
音声レベルメーター表示	各入力チャンネルのエンベデッド音声をピークレベルで表示します。
ON AIR/NEXTタリー表示	外部接点で任意のチャンネルに赤及び緑のタリーを表示します。
エラー枠の表示	エラーを検出した時に赤色の画枠を表示します。
オンスクリーンメニュー	各機能の設定項目やエラーログの表示が可能です。
REMOTE	オプションのGPIO-01、SRC-0801を使用すると、タリー表示制御、映像切り替え制御、エラー検出出力が可能です。
CTRL （将来対応）	シリアル制御を行います。

2. 定 格

(1)SMV-30H 本体

入力信号		
・ SDI IN 1～4	SMPTE424M/292M準拠 0.8Vp-p/75Ω	BNC 4系統
・ REF IN(将来対応)	BBS : 0.43Vp-p/75Ω(NTSC) 0.45Vp-p/75Ω(PAL)	
	3値SYNC : 0.6Vp-p/75Ω	BNC 1系統
・ LTC(将来対応)	SMPTE 12M準拠 0.5-4.5Vp-p/1kΩ	BNC 1系統
出力信号		
・ SDI OUT 1, 2	SMPTE424M/292M準拠 0.8Vp-p75Ω	BNC 2系統
映像フォーマット	1080p59.94(Level-A)	
	1080i59.94	
外部I/F		
・ REMOTE	GPIO-01接続(オプション)	ヒロセ電機 HR10A-7R-6S 1系統
	SRC-0801接続(オプション)	
・ CTRL(将来対応)	USB接続	USB Type C 1系統
電源入力	DC9～18V	XLR4(m) 1系統
		(1 : GND、4 : ＋9～18V)
消費電力	MAX 1.4A (16.8VA)	
外形寸法	100 (W) × 36 (H) × 170 (D) mm (突起物を除く)	
質量	680g	
動作温度・動作湿度	0～40℃ 20～80%RH(ただし結露なき事)	

(2)VAC-12V03A AC 電源アダプター(付属)

電源入力	AC100～240V、47～63Hz、0.93A	平型2ピンプラグ 1系統
電源出力	DC+12V/3.33A	XLR4(f) 1系統
		(1 : GND、4 : DC＋12V)
動作温度・動作湿度	0～40℃ 20～80%RH(ただし結露なき事)	

※本製品は 240V の電源電圧に対応しますが、付属の AC 電源ケーブルは 125V 耐圧のものです。
本製品を 125V～240V の電源電圧でご使用する場合は、別途 240V 対応の AC 電源ケーブルをご用意ください。

(3)GPIO-01(オプション)

GPI	接点入力×8、接点出力×8	Dsub-37(f) 1系統
	※1 TTL信号で制御する際は、吸い込み電流が12mAまで 耐えられるデバイスで駆動してください。	
	※2 接点の絶対最大定格は60V、300mAです。外部抵抗で 電流を300mA以下に制限してください。	

(4)SRC-0801(オプション)

リモートコントロール入力	ヒロセ電機 HR10A-7R-6S 1系統
消費電力	1.5VA
外形寸法	200(W) × 44(H) × 42(D)mm (突起物を除く)
質量	400g
動作温度・動作湿度	0～40℃ 20～80%RH(ただし結露なき事)

3. 性 能

(1)SMV-30H 本体

入力特性

・SDI IN 1～4

分解能	10bit
サンプリング周波数	HD:74.18MHz、3G:148.35MHz
イコライザー特性	HD:100m/5CFB、3G:80m/5CFB
反射減衰量	5MHz～1.485GHz 15dB以上
	1.485GHz～3GHz 10dB以上

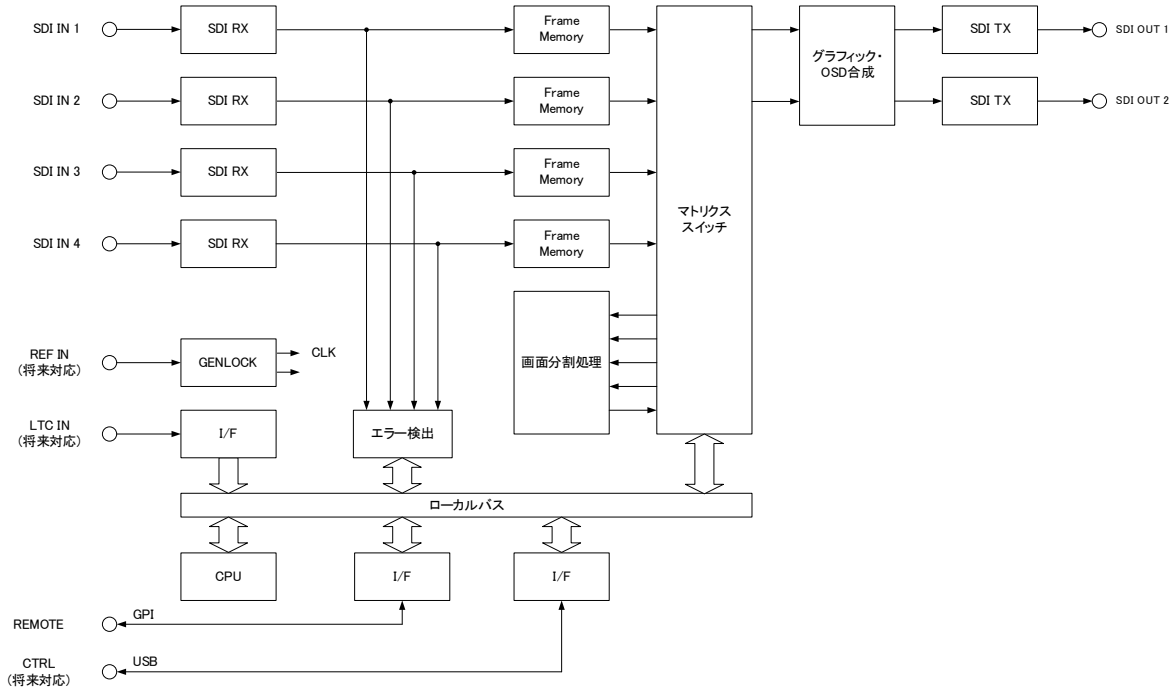
出力特性

・SDI OUT 1, 2

分解能	10bit
サンプリング周波数	HD-SDI:74.18MHz、3G-SDI:148.35MHz
信号振幅	0.8Vp-p±10%/75Ω
反射減衰量	5MHz～1.485GHz 15dB以上SD:5 MHz～270MHz 15dB以上
	1.485GHz～3GHz 10dB以上
立ち上がり/立ち下がり時間	HD:270ps以下 (20%～80%間)、3G:135ps以下 (20%～80%間)
オーバーシュート	10%以下
DCオフセット	0V±0.5V
ジッター特性	
アライメント	HD:0.2UI以下、3G:0.3UI以下
タイミング	HD:1.0UI以下、3G:2.0UI以下

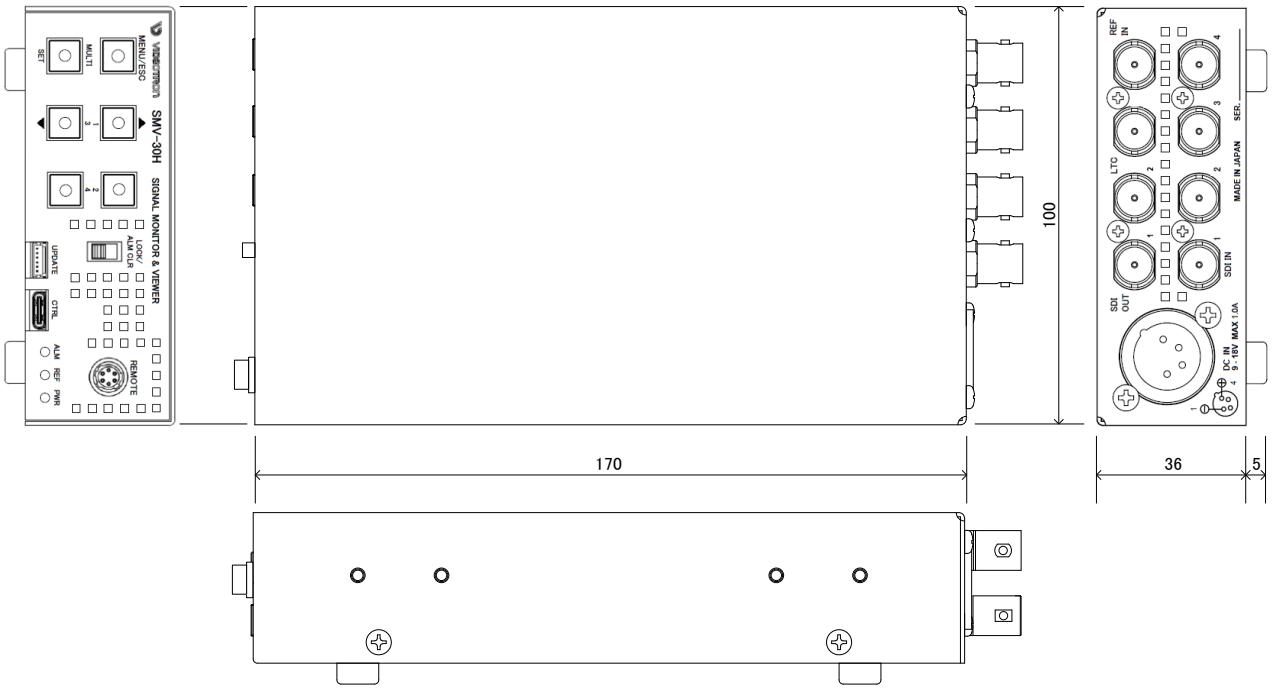
入出力遅延	各映像フォーマットの約0.5～1.5フレーム

10. ブロック図

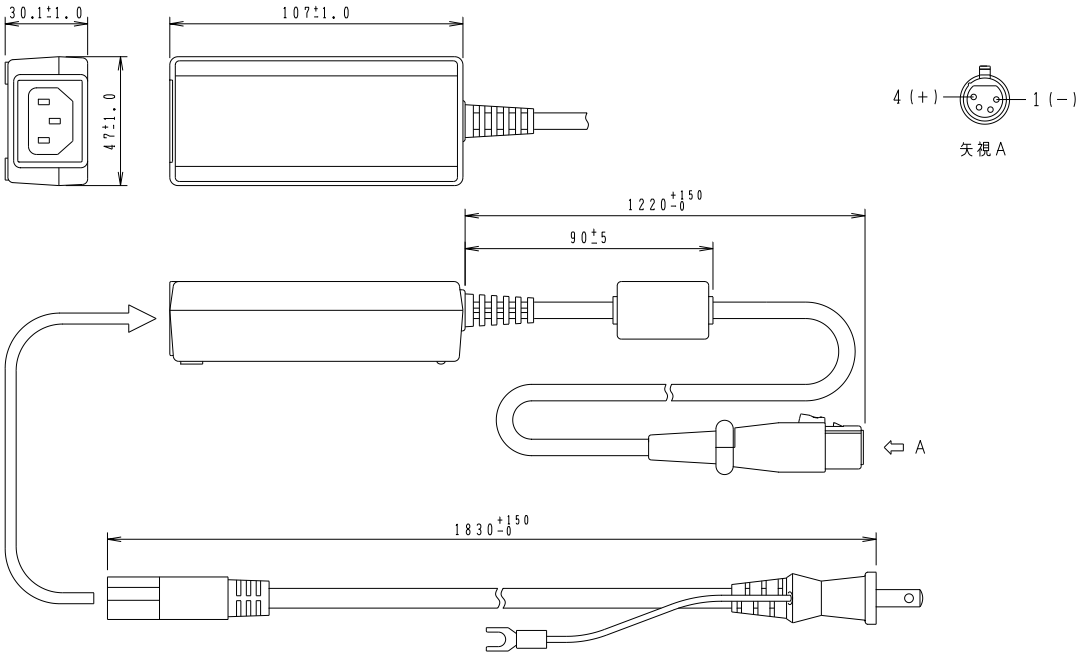

SDI IN 1
SDI IN 2
SDI IN 3
SDI IN 4
SDI RX
SDI RX
SDI RX
SDI RX
Frame Memory
Frame Memory
Frame Memory
Frame Memory
マトリクス スイッチ
グラフィック・ OSD合成
SDI TX
SDI TX
SDI OUT 1
SDI OUT 2
画面分割処理
REF IN (将来対応)
GENLOCK
CLK
LTC IN (将来対応)
I/F
エラー検出
ローカルバス
CPU
I/F
I/F
REMOTE
GPI
CTRL (将来対応)
USB

11. 外形図

(1) SMV-30H



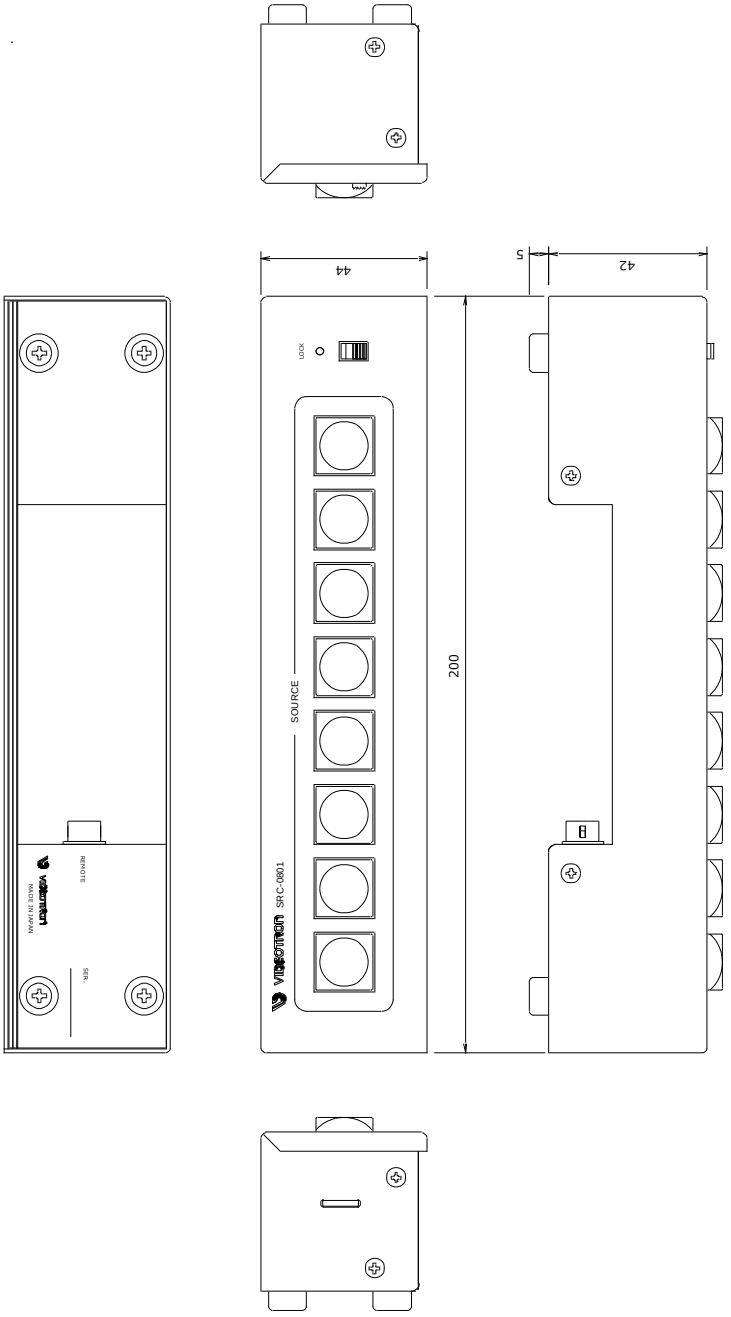
(2) VAC-12V03A



(3) GPIO-01(オプション) GPIOインターフェースケーブル



(4) SRC-0801(オプション) 8x1 シリアルリモートコントローラー



※外観および仕様は変更することがあります。

無断転写禁止

・本書の著作権はビデオトロン株式会社に帰属します。
・本書に含まれる文書および図版の流用を禁止します。

お問い合わせ

製品に関するお問い合わせは、下記サポートダイヤルにて承ります。

本社営業部/サポートセンター TEL 042-666-6311
大 阪 営 業 所 TEL 06-6195-8741

ビデオトロン株式会社 E-Mail：sales@videotron.co.jp

本　社　〒193-0835 東京都八王子市千人町 2-17-16
大阪営業所　〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島6-8-8 花原第8ビル 5F

ビデオトロンWEBサイト https://www.videotron.co.jp

102214R00

本書の内容については、予告なしに変更する事がありますので予めご了承下さい。